

# 1 日本人港区来訪者調査

# 1. 日本人港区来訪者調査

## (1) 調査概要

インターネット調査により、10,000 サンプル以内でスクリーニング調査を行い、そのうち、1年以内に港区に来訪した旅行者を対象に調査を実施した。  
900 サンプルの回答を得て集計・分析を行った。

## (2) 調査手法

### ア 調査期間

令和4年11月1日～11月13日

### イ 調査対象者

1年以内に港区に来訪した日本人旅行者

### ウ サンプル数の設定

年代毎のサンプル数は均等とし、宿泊旅行者 700 サンプル、日帰り旅行者 200 サンプルの計 900 サンプル

※宿泊旅行者のサンプルの抽出に当たっては、関東地方在住者を除く

### エ 回収数

900 サンプル

宿泊旅行者（700 サンプル）、日帰り旅行者（200 サンプル）

## (3) 報告書の見方

- ・本調査は2段階（第1段階：上記のサンプル条件に該当する者のスクリーニング（SC）、第2段階：本設問）に分けて実施した。第1段階のうち、後述する回答者の属性に該当しない、スクリーニング目的の設問について、調査結果を記載していない。
- ・「SC4 居住地」の8地方区分は以下のとおりとしている。

地方	都道府県
北海道地方	北海道
東北地方	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東地方	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部地方	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿地方	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、三重県、滋賀県、和歌山県
中国地方	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国地方	徳島県、香川県、愛媛県、高知県

地方	都道府県
九州地方	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- ・各設問は記載がある問を除いて、基本的には単一回答である。
- ・調査結果の構成比率は、小数点第2位を四捨五入したものを記入しているため、構成比の合計が100%とならない場合がある。
- ・回答数が小さいもの(n=30未満)は、比率が上下しやすいため、表・グラフのみを参考として示すにとどめる。
- ・割合の表記は、以下のとおりとしている。

割合 (%)	表記
20.0～20.4	2割
20.5～20.9	約2割
21.0～23.9	2割を超える
24.0～26.4	2割半ば
26.5～28.9	3割近く
29.0～29.4	約3割
29.5～29.9	3割

(4) 回答者の属性

ア 居住地

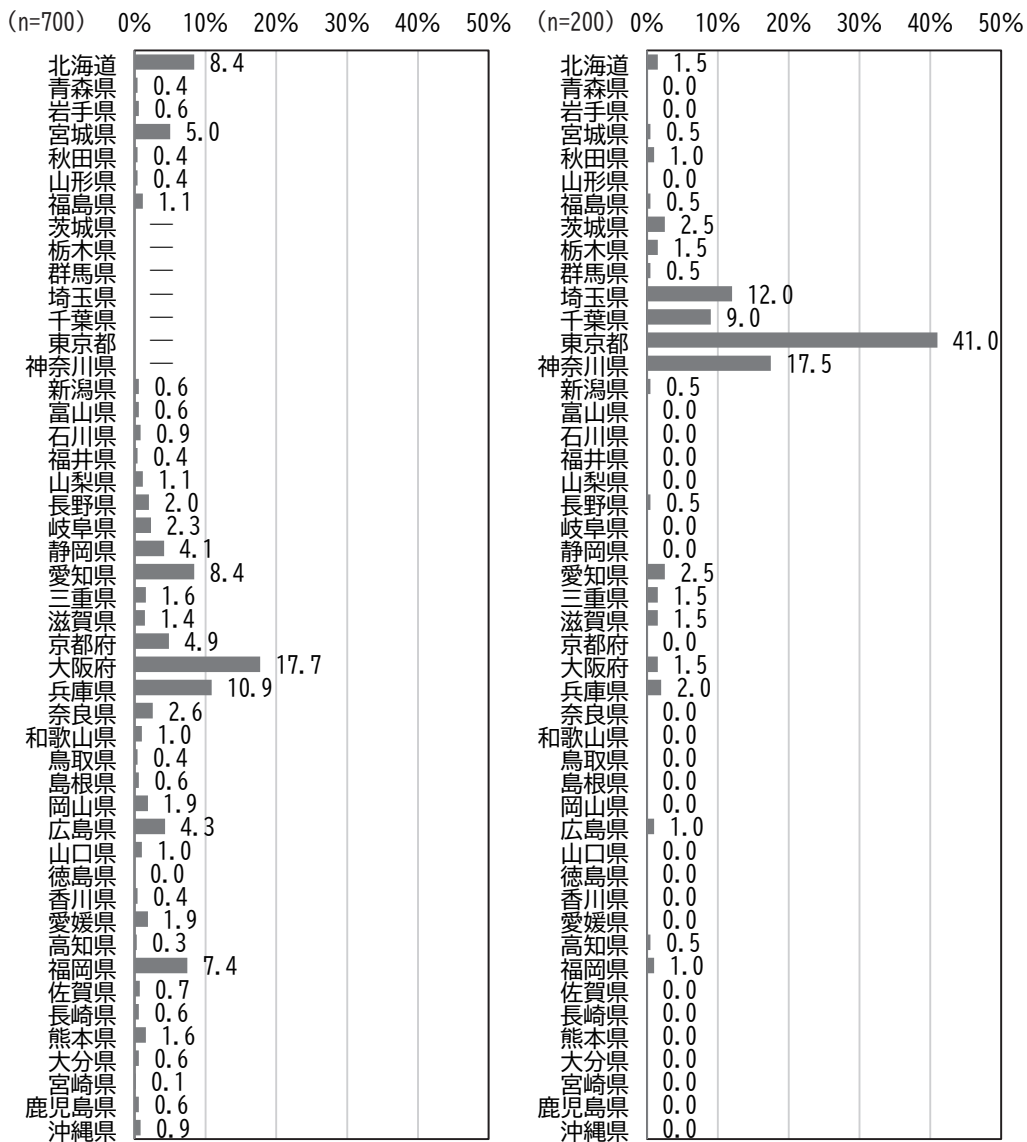
SC4 あなたの居住地（都道府県）を教えてください。

【居住地（47都道府県）】

宿泊旅行者の居住地は、「大阪府」（17.7%）が2割近くで最も高く、次いで「兵庫県」（10.9%）、「北海道」、「愛知県」（各8.4%）である。

日帰り旅行者は「東京都」（41.0%）が4割を超えて最も高く、次いで「神奈川県」（17.5%）である。

図1-1 居住地（左：宿泊旅行者、右：日帰り旅行者）



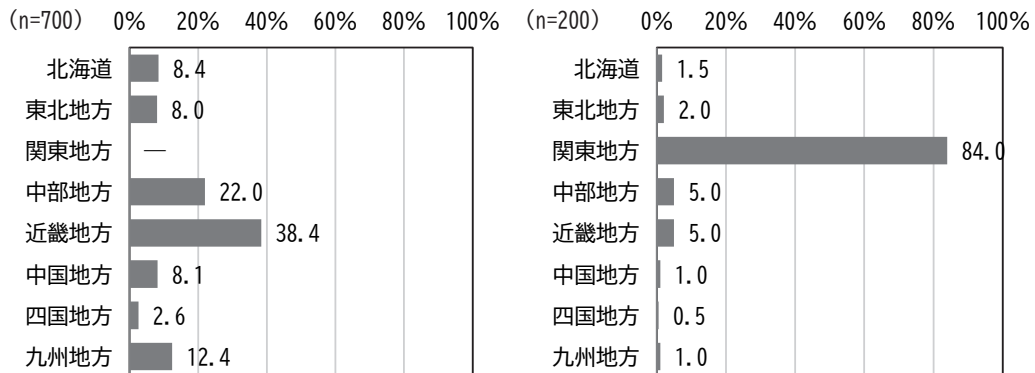
注1) 宿泊旅行者について、関東地方在住者は対象外のため「-」表示（以下、同様）

【居住地（8地方区分）】

宿泊旅行者の居住地は、「近畿地方」（38.4%）が4割近くと最も高く、次いで「中部地方」（22.0%）である。

日帰り旅行者は「関東地方」（84.0%）が8割半ばと最も高く、次いで「中部地方」、「近畿地方」（各5.0%）である。

図1-2 8地方区分別の居住地（左：宿泊旅行者、右：日帰り旅行者）

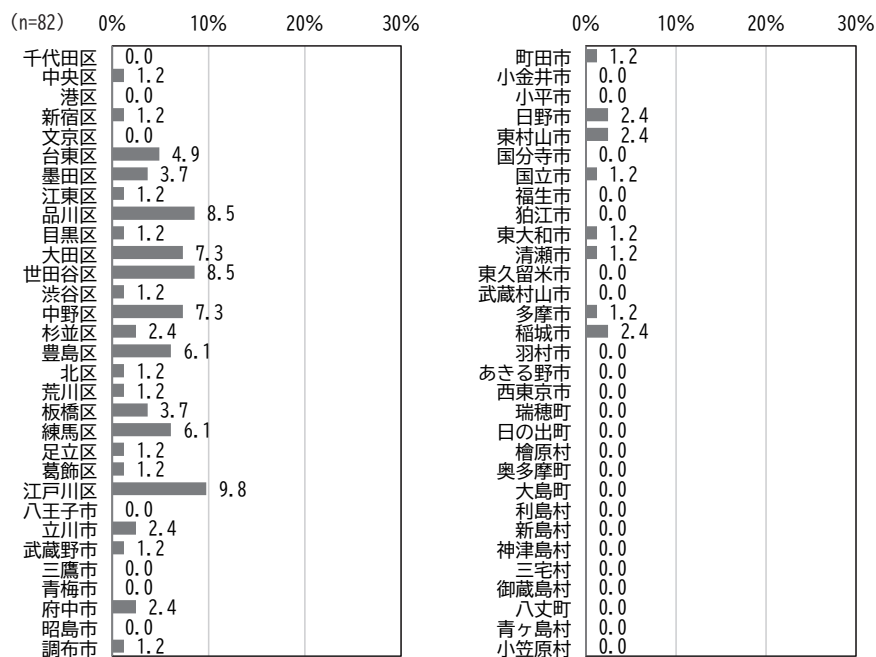


SC4-1 居住地が東京都の方は市区町村をお答えください。

【居住地（東京都内市区町村）】

東京都内在住の日帰り旅行者の居住地は、「江戸川区」（9.8%）が最も高く、次いで「品川区」、「世田谷区」（各8.5%）である。

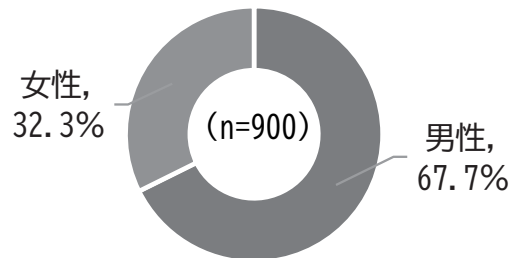
図1-3 居住地（東京都内在住の日帰り旅行者）



## イ 性別

性別で見ると、「男性」（67.7%）が7割近い。

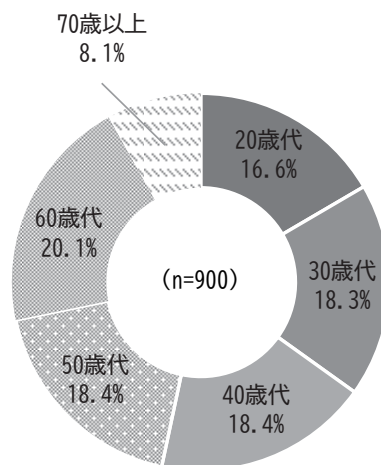
図1-4 性別



## ウ 年代

年代別で見ると、「60歳代」（20.1%）が2割と最も高く、次いで「50歳代」、「40歳代」（各18.4%）である。

図1-5 年代

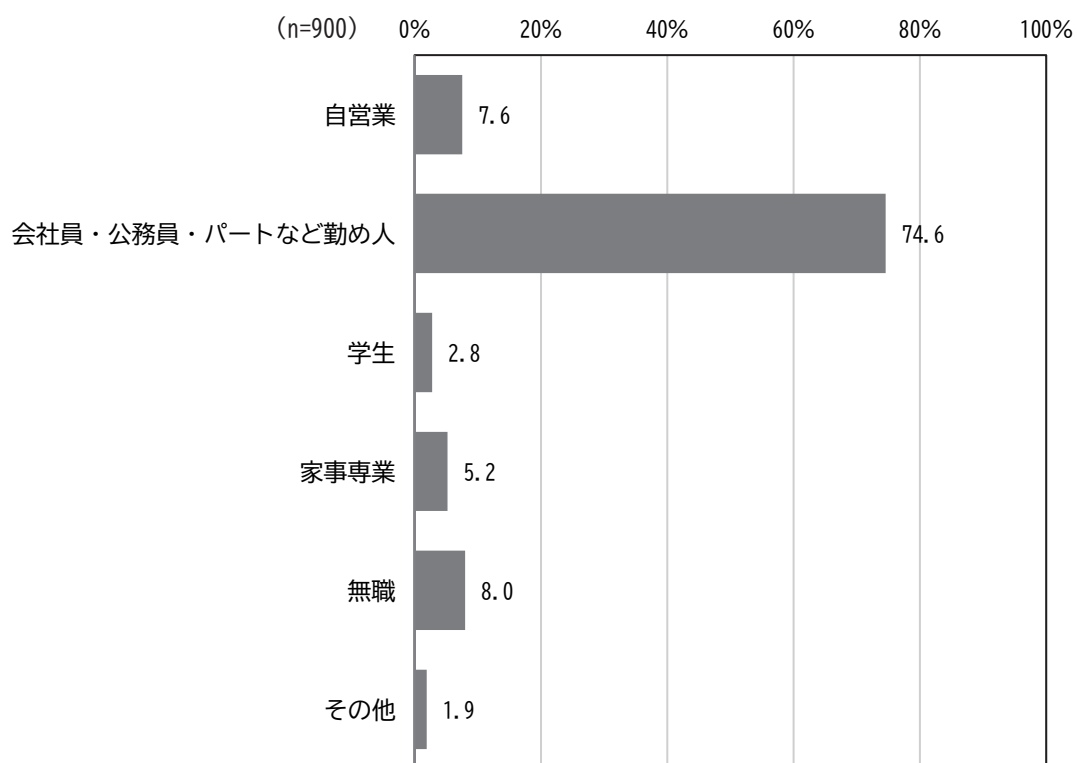


## 工 職業

SC5 あなたの職業を教えてください。

職業別で見ると、「会社員・公務員・パートなど勤め人」(74.6%)が7割半ばと最も高い。

図1-6 職業



## (5) 調査結果

### ア 国内旅行の概要

問1 あなたは、過去1年以内（令和3年11月～令和4年10月）に何回、国内旅行に行きましたか。旅行回数を旅行種類ごとに記入してください。

#### 【過去1年以内の国内旅行回数】

国内旅行（日帰り旅行）は、「レジャー（観光・レクリエーション等）」（平均5.2回）が最も多く、次いで「仕事（出張・業務等）」（平均4.7回）である。

国内旅行（宿泊旅行）は、「仕事（出張・業務等）」（平均4.6回）が最も多く、次いで「レジャー（観光・レクリエーション等）」（平均3.9回）である。

図1-7 過去1年以内の国内旅行（日帰り旅行）における平均回数

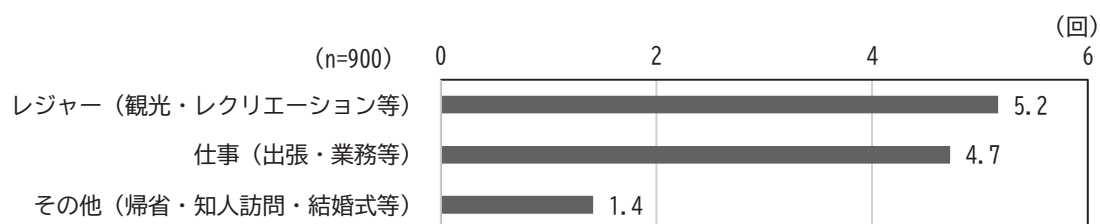
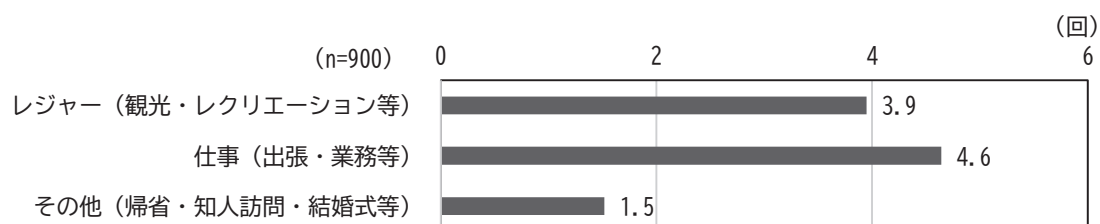


図1-8 過去1年以内の国内旅行（宿泊旅行）における平均回数



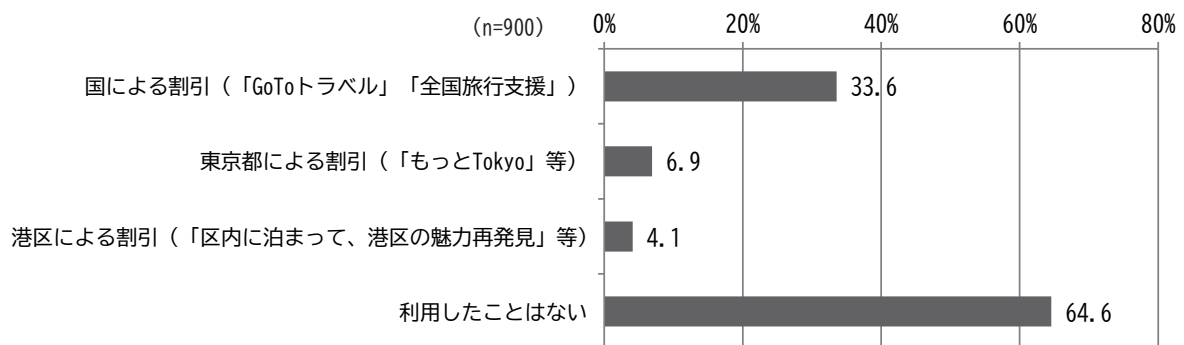


問2 あなたが一番最近に行った国内旅行（1回分）についてお伺いします。国や東京都、港区による旅行割引支援制度を利用したことはありますか。（いくつでも）

【旅行割引支援制度の利用経験】

「利用したことはない」（64.6%）と最も高く、次いで「国による割引」（33.6%）、「東京都による割引」（6.9%）である。

図1－9 旅行割引支援制度の利用経験



イ 港区への旅行の内容について

問3 あなたが過去1年以内（令和3年11月～令和4年10月）に、旅行で港区を訪れた回数を、日帰りと宿泊、それぞれお答えください。

【過去1年以内の港区内へのお出かけ回数（日帰り／宿泊）】

日帰りは、全体で平均1.8回である。

年代別で見ると、「20歳代」（2.4回）が最も多く、次いで「50歳代」（2.2回）である。

宿泊は、全体で平均2.4回である。

年代別で見ると、「30歳代」（3.1回）が最も多く、次いで「50歳代」（2.9回）である。

図1-10 港区への平均旅行回数（日帰り）

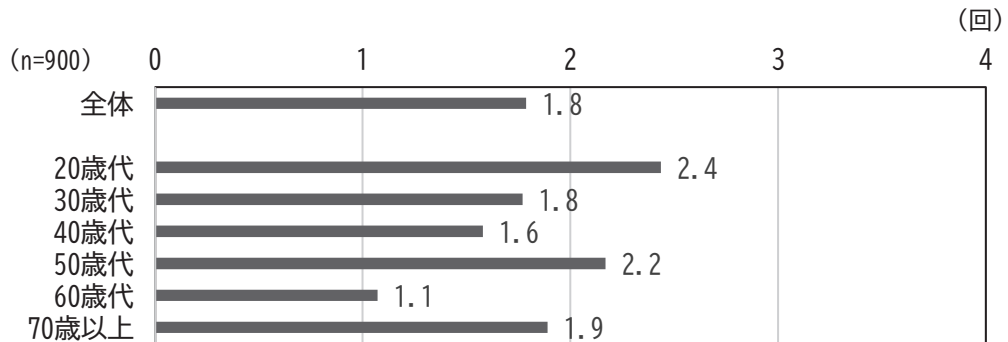
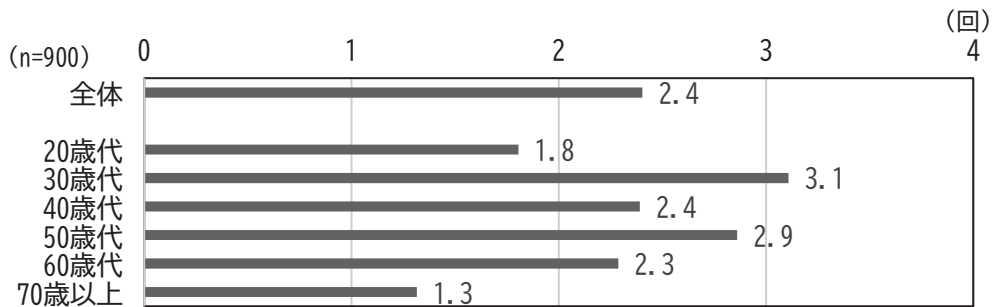


図1-11 港区への平均旅行回数（宿泊）



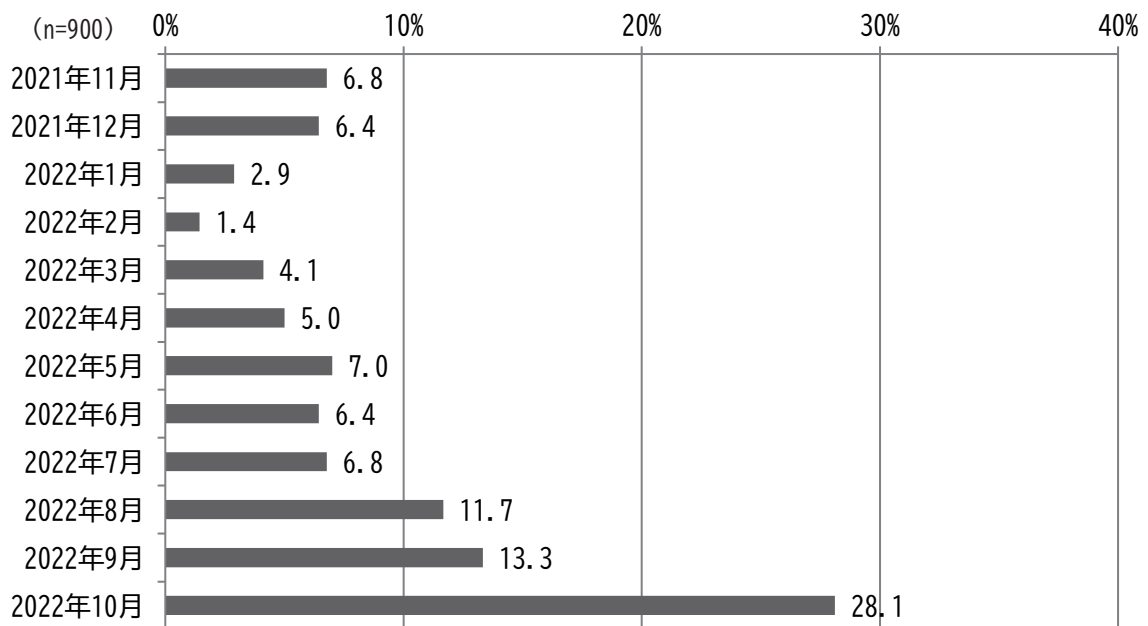
※以下、過去1年以内の港区内へのお出かけ（観光目的）について、直近（一番最近）のものについてお答えください。

問4 来訪時期はいつですか。

【港区への来訪時期】

港区への来訪時期は、「2022年10月」（28.1%）が3割近くと最も高く、次いで「2022年9月」（13.3%）である。

図1-12 港区への来訪時期



問5 来訪時の同行者をお答えください。

【来訪時の同行者】

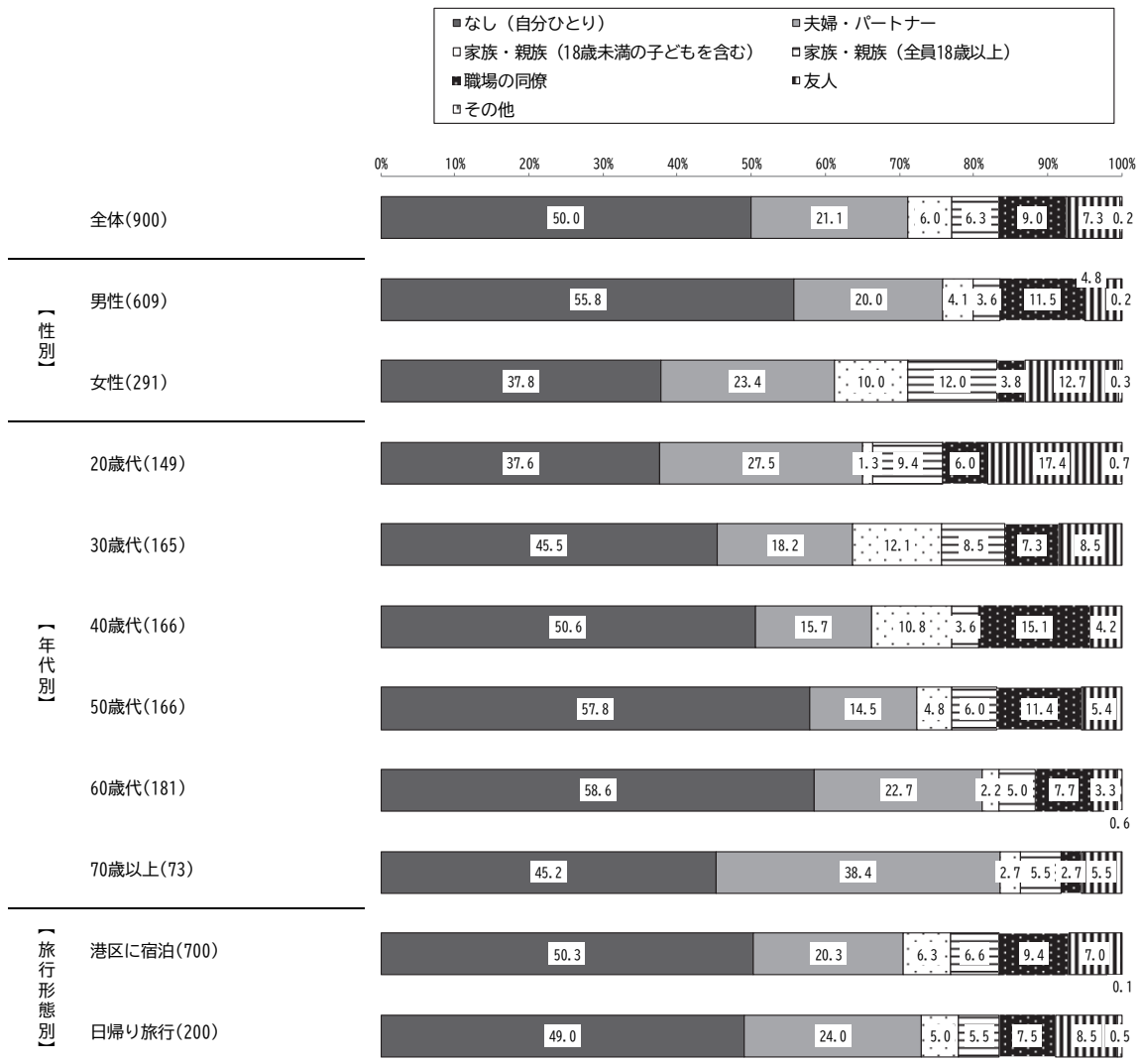
全体では、「なし（自分ひとり）」（50.0%）が5割と最も高く、次いで「夫婦・パートナー」（21.1%）である。

性別で見ると、男女ともに「なし（自分ひとり）」（55.8%、37.8%）が最も高いが、男性に比べて女性は「家族・親族（10.0%、12.0%）」、「友人（12.7%）」の割合がそれぞれ高い。

年代別で見ると、全ての年代で「なし（自分ひとり）」が最も高く、20歳代から60歳代にかけて、年代が高くなるほどその割合が高くなる傾向にある。

旅行形態別で見ると、いずれも「なし（自分ひとり）」が最も高く、割合に大きな差はみられない。

図1-13 来訪時の同行者



問6 来訪時の主な目的をお答えください。

【来訪時の主目的】

全体では、「買い物・飲食」（30.7%）が約3割で最も高く、次いで「その他」（19.4%）、「行祭事・イベント見物」（14.9%）である。なお、「その他」をみると、友人・知人らとの交流、仕事を挙げる回答が多い。

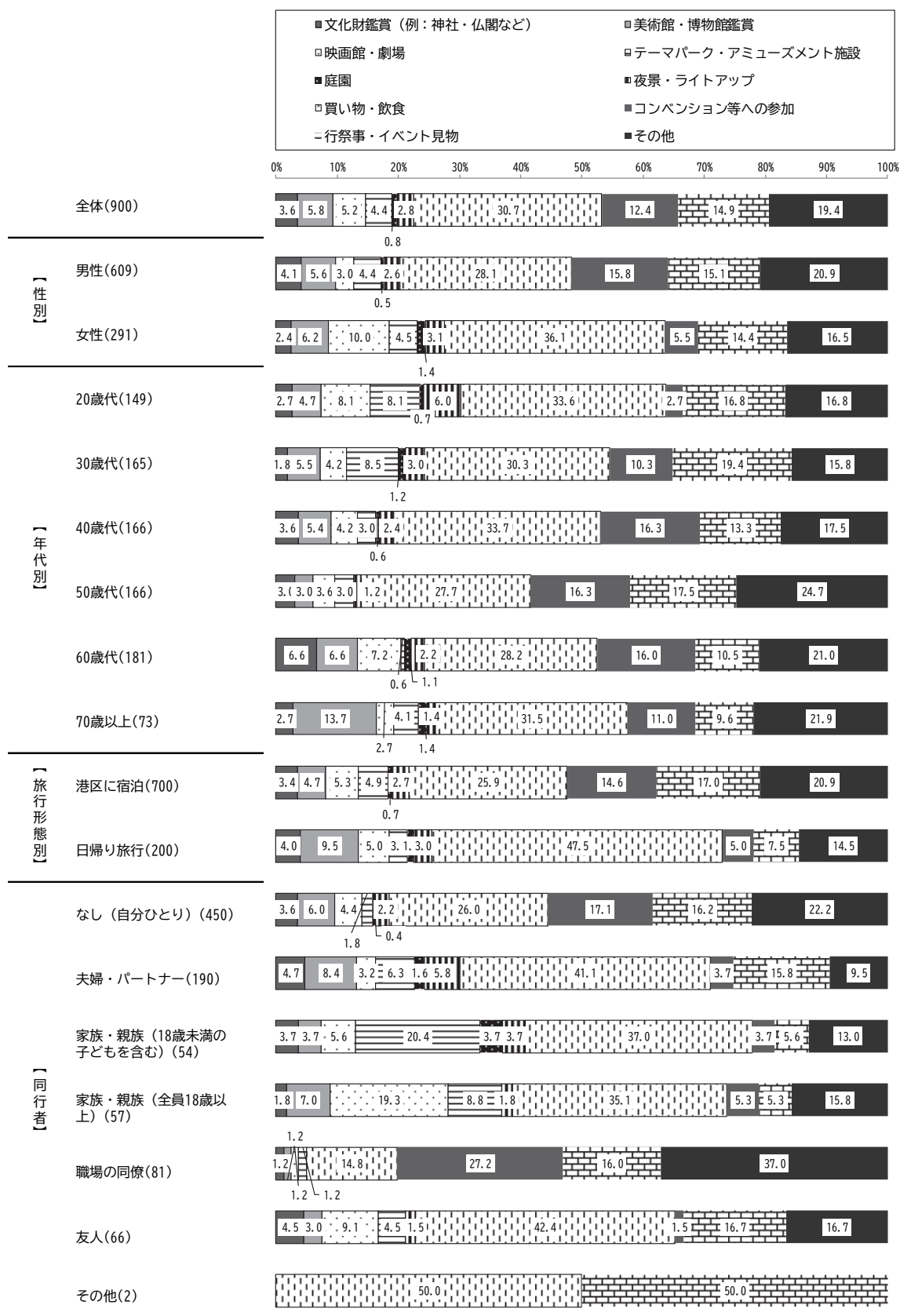
性別でみると、男女ともに「買い物・飲食」（28.1%、36.1%）が最も高い。

年代別でみると、全ての年代で「買い物・飲食」が最も高い。

旅行形態別でみると、いずれも「買い物・飲食」が最も高いが、特に「日帰り旅行」は47.5%と全体（30.7%）より10ポイント以上高い。

同行者別でみると、「職場の同僚」を除いて「買い物・飲食」が最も高い。「職場の同僚」は「その他」（37.0%）が最も高く、次いで「コンベンション等への参加」（27.2%）である。

図1-14 来訪時の主目的



問7 (1) 来訪時に訪れたスポットを時間帯（日中<午後6時まで>・夜間<午後6時以降>）別にそれぞれお答えください。

【港区内の訪問スポット】

（神社・仏閣・史跡）

全体のうち、日中では、「増上寺」（16.3%）が1割半ばと最も高く、次いで「泉岳寺」（11.4%）である。夜間では、「増上寺」（2.9%）が最も高い。

旅行形態別のうち、日中でみると、いずれも全体と同じ傾向である。

夜間でみると、「港区に宿泊」は「増上寺」（3.4%）、「日帰り」は「泉岳寺」（2.5%）が最も高い。

図1-15 訪問スポット（神社・仏閣・史跡、日中）

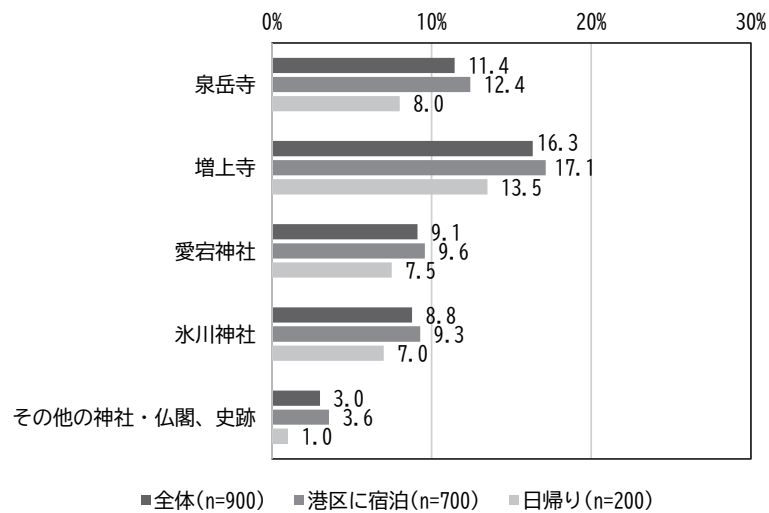
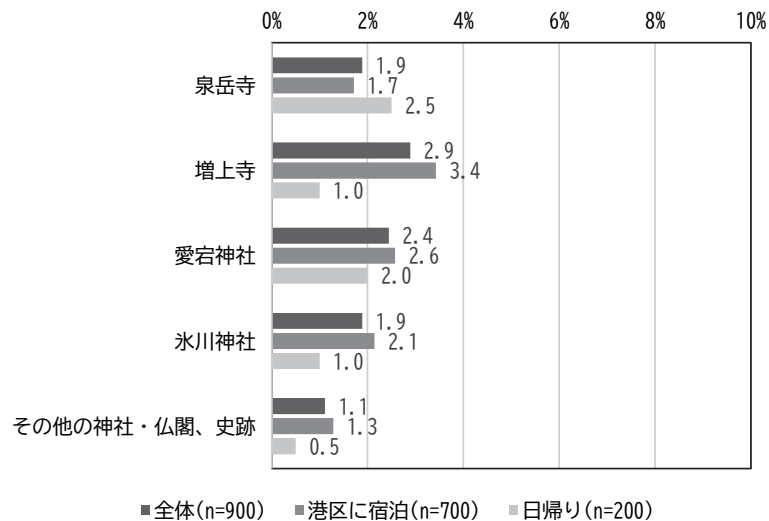


図1-16 訪問スポット（神社・仏閣・史跡、夜間）



(建物・商業施設)

全体のうち、日中では、「六本木ヒルズ」(25.6%)が2割半ばと最も高く、次いで「東京タワー」(23.8%)である。夜間では、日中と比べて割合は低いものの、「六本木ヒルズ」(18.4%)が最も高く、次いで「東京タワー」(16.7%)である。

旅行形態別のうち、日中でみると、「港区に宿泊」は「東京タワー」(24.4%)、「日帰り」は「六本木ヒルズ」(32.0%)が最も高い。夜間でみると、「港区に宿泊」と「日帰り」とともに「六本木ヒルズ」(各18.9%、17.0%)が最も高い。

図1-17 訪問スポット (建物・商業施設、日中)

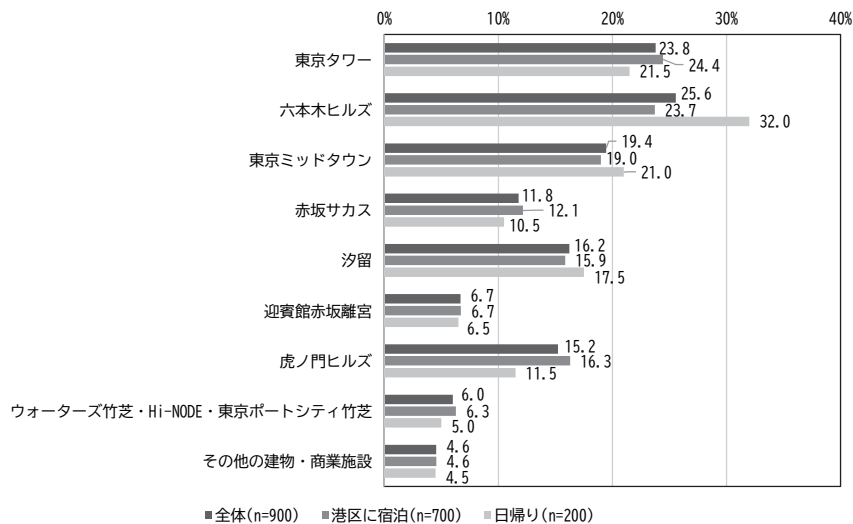
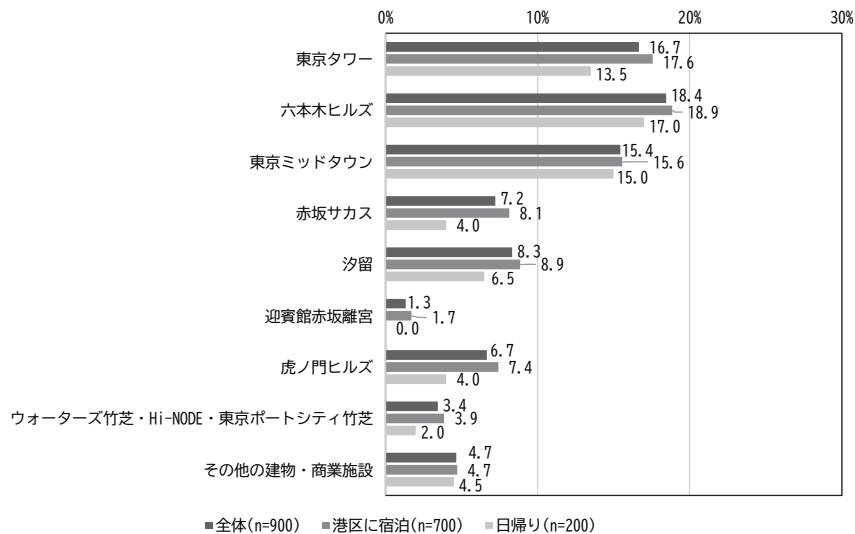


図1-18 訪問スポット (建物・商業施設、夜間)





(商店街等)

全体のうち、日中では「表参道」(34.7%)が3割半ばと最も高い。夜間では、日中と比べて割合は低いものの、「表参道」(15.0%)が最も高い。

旅行形態別でも、日中・夜間ともに全体と同様の傾向にある。

図1-19 訪問スポット (商店街等、日中)

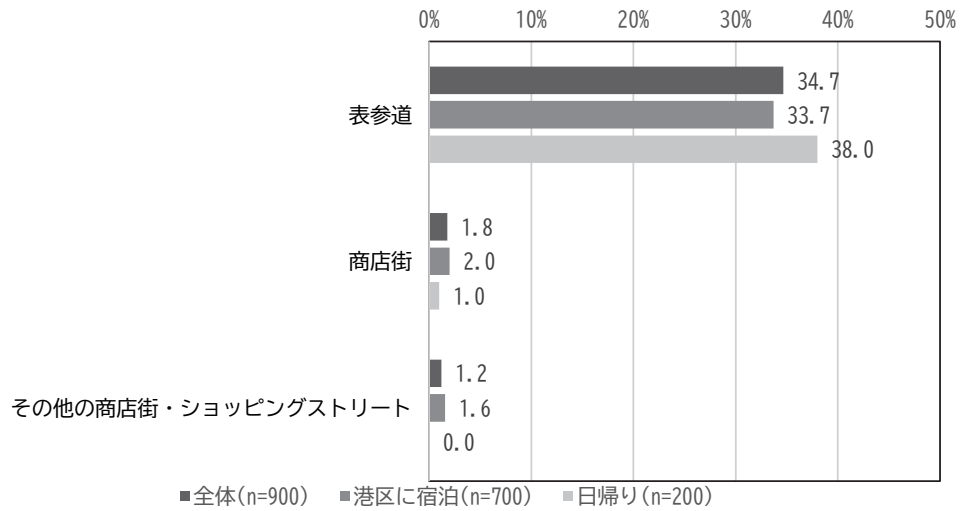
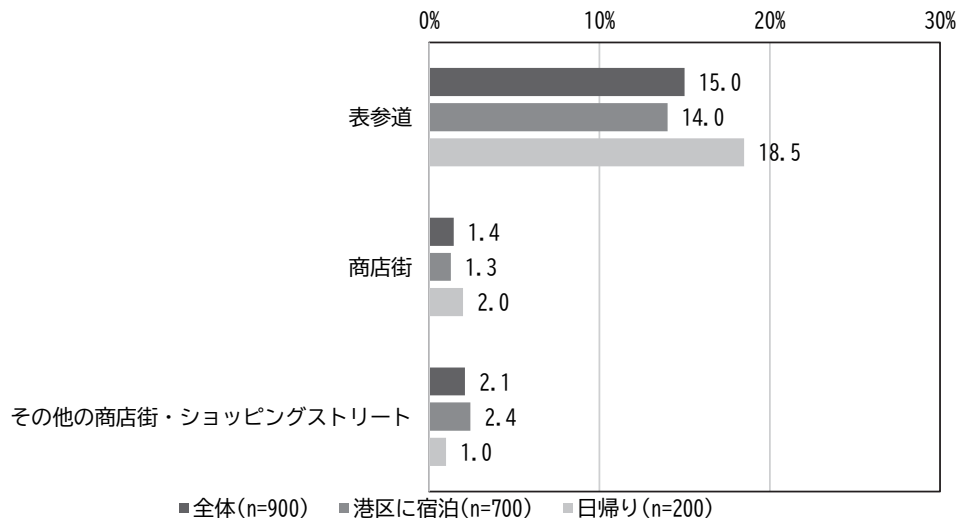


図1-20 訪問スポット (商店街等、夜間)



(公園・庭園・緑地等)

全体のうち、日中では「新橋S L広場」(17.0%)が2割近くと最も高く、次いで「お台場海浜公園」(16.1%)である。夜間では、日中と比べて割合は低いものの、「新橋S L広場」(12.4%)が最も高く、次いで「お台場海浜公園」(6.1%)である。

旅行形態別のうち、日中でみると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「新橋S L広場」(各16.1%、20.0%)が最も高い。夜間も同様の傾向である。

図1-21 訪問スポット(公園・庭園・緑地等、日中)

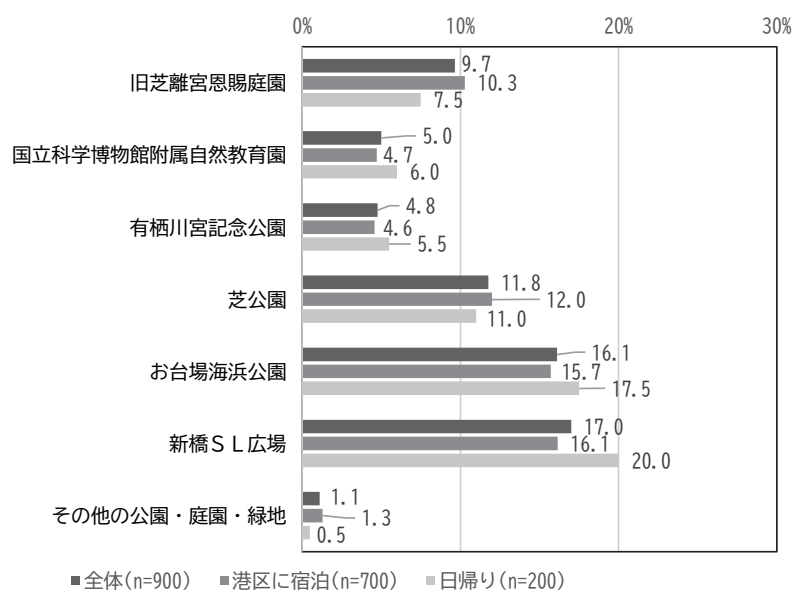
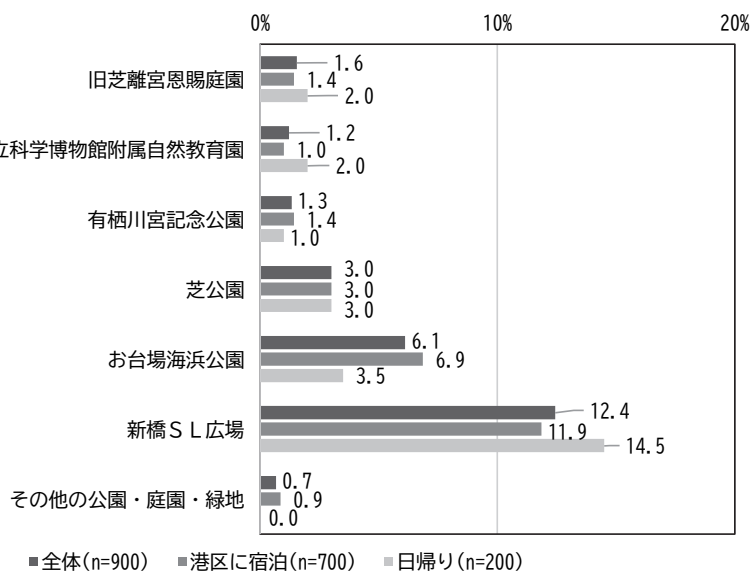


図1-22 訪問スポット(公園・庭園・緑地等、夜間)



(散歩道・景観スポット)

全体のうち、日中では「神宮外苑」(14.8%)が1割半ばと最も高く、次いで「レインボーブリッジ」(14.3%)である。夜間では「レインボーブリッジ」(15.6%)が最も高く、日中よりも割合が高い。

旅行形態別のうち、日中でみると、「港区に宿泊」は「レインボーブリッジ」(14.0%)、「日帰り」は「神宮外苑」(18.0%)が最も高い。夜間でみると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「レインボーブリッジ」(各16.4%、12.5%)が最も高い。

図1-23 訪問スポット(散歩道・景観スポット、日中)

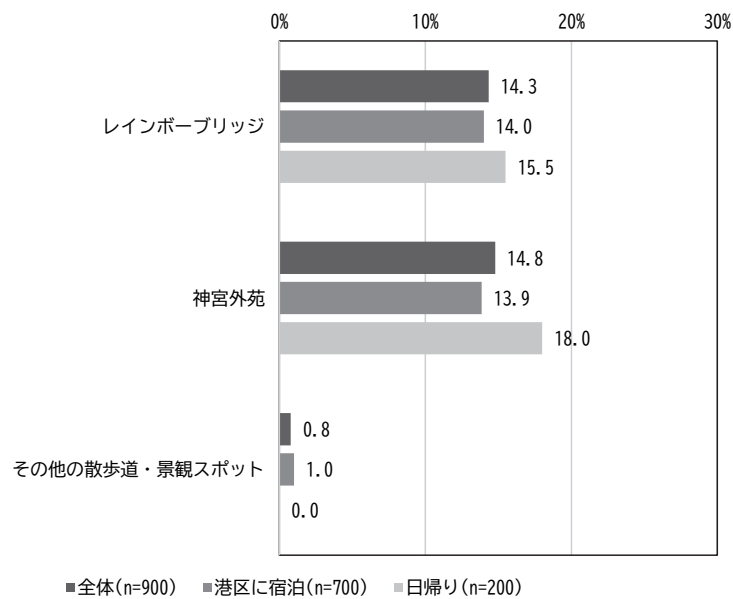
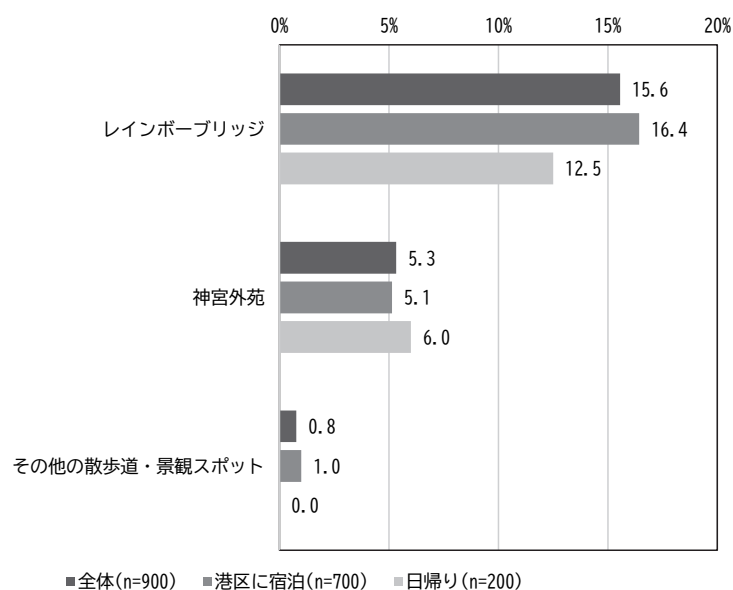


図1-24 訪問スポット(散歩道・景観スポット、夜間)



(映画館・劇場・アミューズメント施設)

全体のうち、日中では、「アクアシティお台場」(13.7%)が1割を超えて最も高く、次いで「デックス東京ビーチ(東京ジョイポリス等)」(6.2%)である。夜間では、日中と比べて割合は低いものの、「アクアシティお台場」(5.6%)が最も高く、次いで「その他の映画館・劇場・アミューズメント施設」(3.3%)である。

旅行形態別のうち、日中でみると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「アクアシティお台場」(各12.1%、19.0%)が最も高い。夜間も同様の傾向である。

図1-25 訪問スポット(映画館・劇場・アミューズメント施設、日中)

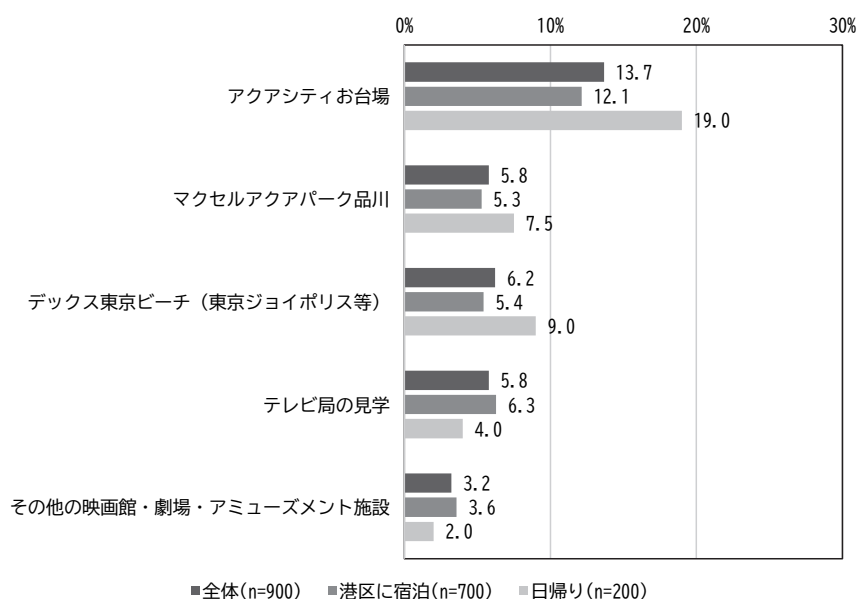
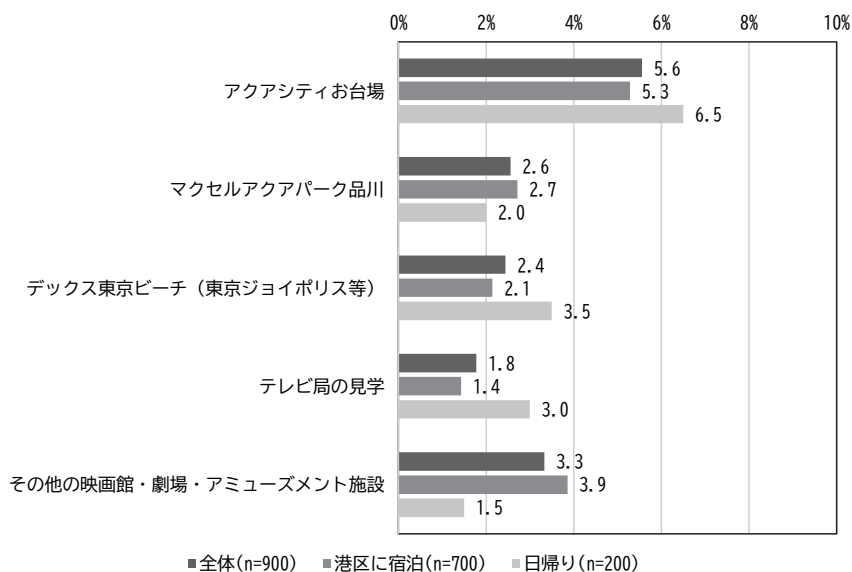


図1-26 訪問スポット(映画館・劇場・アミューズメント施設、夜間)



(美術館・資料館)

全体のうち、日中では「国立新美術館」(11.4%)が1割を超えて最も高く、次いで「森美術館」(7.3%)である。夜間では、日中と比べて割合は低いものの、「国立新美術館」(1.6%)が最も高く、次いで「森美術館」(1.4%)である。

旅行形態別のうち、日中でみると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「国立新美術館」(各10.7%、14.0%)が最も高い。夜間でみると、「港区に宿泊」は「国立新美術館」と「森美術館」(各1.4%)、「日帰り」は「国立新美術館」(2.0%)が最も高い。

図1-27 訪問スポット (美術館・資料館、日中)

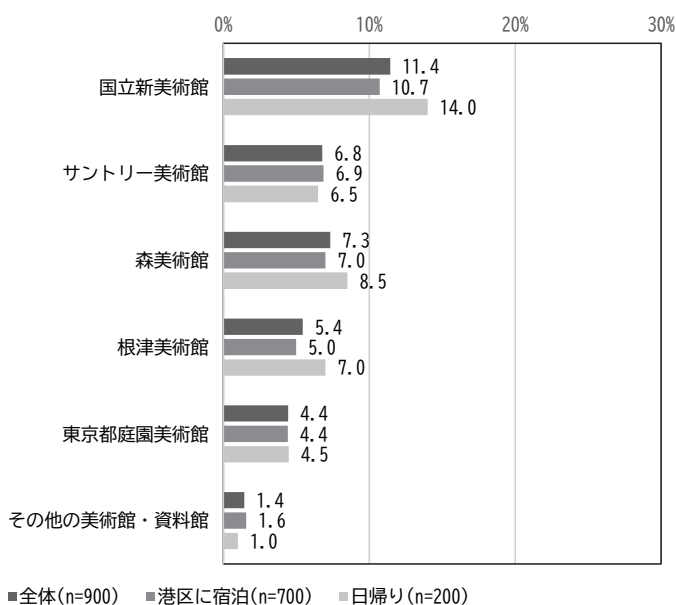
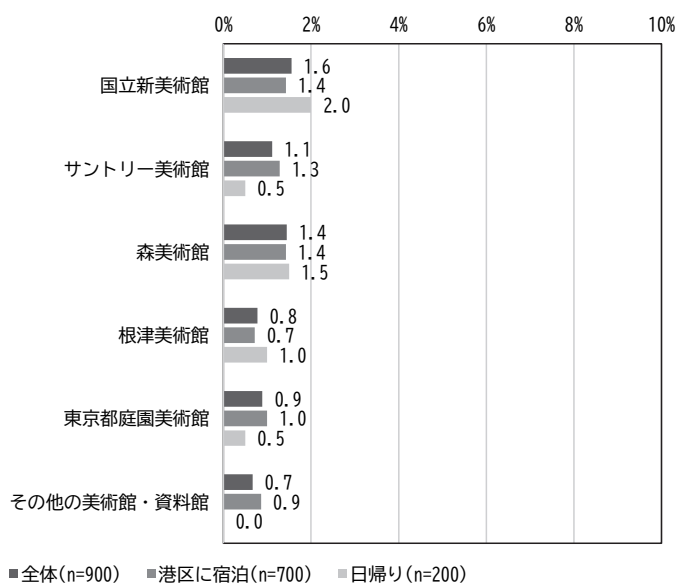


図1-28 訪問スポット (美術館・資料館、夜間)



(乗り物)

全体のうち、日中では「ゆりかもめ」(19.8%)が2割と最も高く、次いで「その他の乗り物」(4.9%)である。夜間では、日中と比べて割合は低いものの、「ゆりかもめ」(11.7%)が最も高く、次いで「その他の乗り物」(6.3%)である。

旅行形態別のうち、日中でみると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「ゆりかもめ」(各21.3%、14.5%)が最も高い。夜間も同様の傾向である。

図1-29 訪問スポット (乗り物、日中)

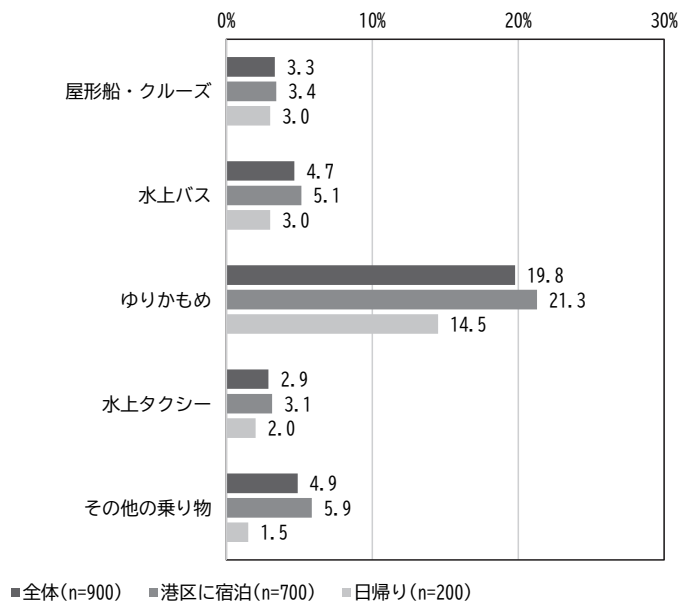
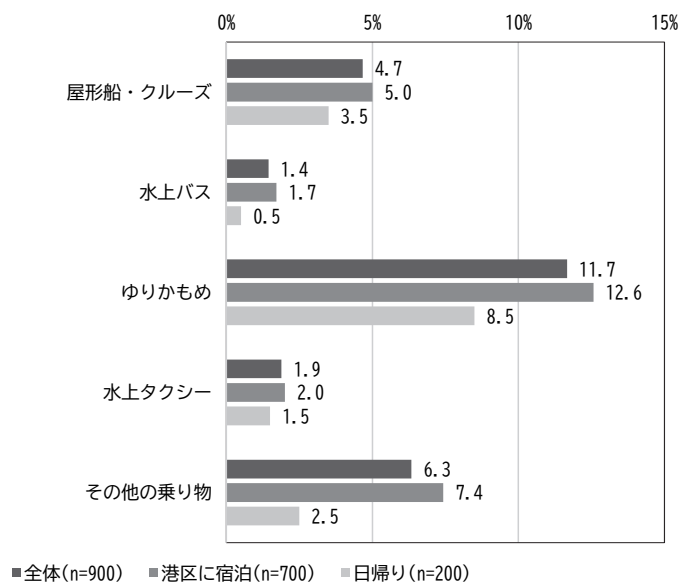


図1-30 訪問スポット (乗り物、夜間)



問7(2) ご自身の興味があるスポット、ご家族や友人・知人に薦めたいスポットをそれぞれお答えください。

【港区内のスポット】

(神社・仏閣・史跡)

興味があるスポットについて、全体では、「増上寺」(26.4%)が2割半ばで最も高く、次いで「泉岳寺」(26.1%)である。旅行形態別でみると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「増上寺」(各26.8%、24.7%)が最も高い。

薦めたいスポットについて、全体では、「増上寺」(18.5%)が2割近くと最も高く、次いで「泉岳寺」(11.2%)である。旅行形態別でみると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「増上寺」(各18.8%、17.3%)が最も高い。

図1-31 興味があるスポット(神社・仏閣・史跡)

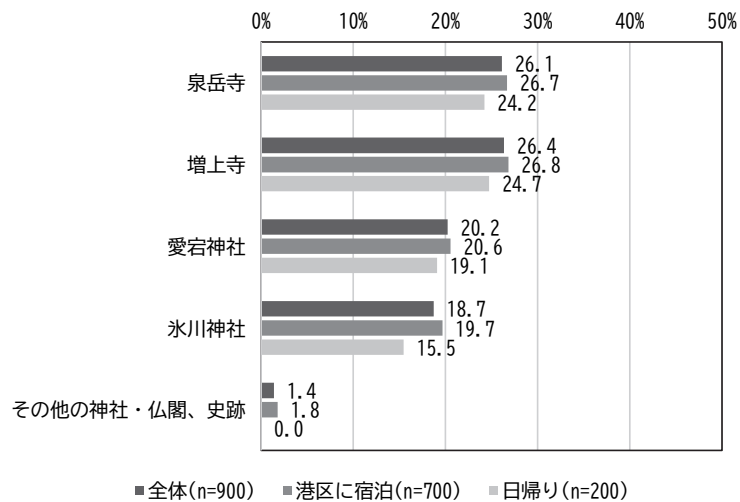
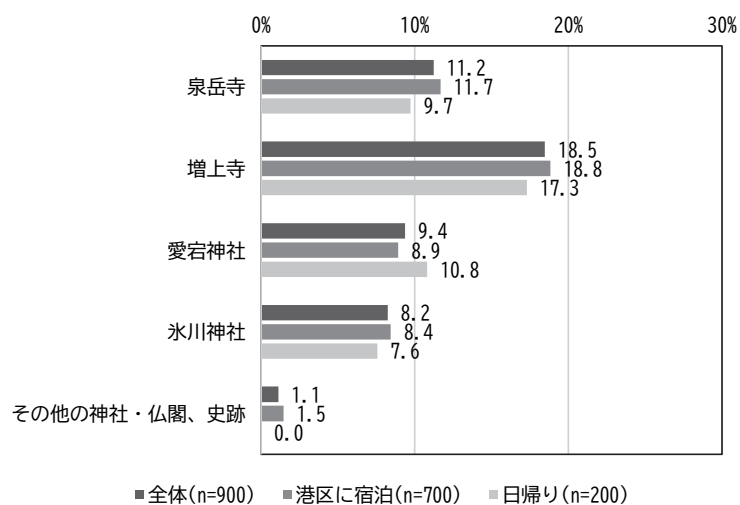


図1-32 薦めたいスポット(神社・仏閣・史跡)



(建物・商業施設)

興味があるスポットについて、全体では、「東京タワー」(44.2%)が4割半ばで最も高く、次いで「六本木ヒルズ」(32.7%)である。旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「東京タワー」(各44.3%、43.8%)が最も高い。

薦めたいスポットについて、全体では、「東京タワー」(39.2%)が約4割と最も高く、次いで「六本木ヒルズ」(25.6%)である。旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「東京タワー」(各40.4%、35.1%)が最も高い。

図1-33 興味があるスポット (建物・商業施設)

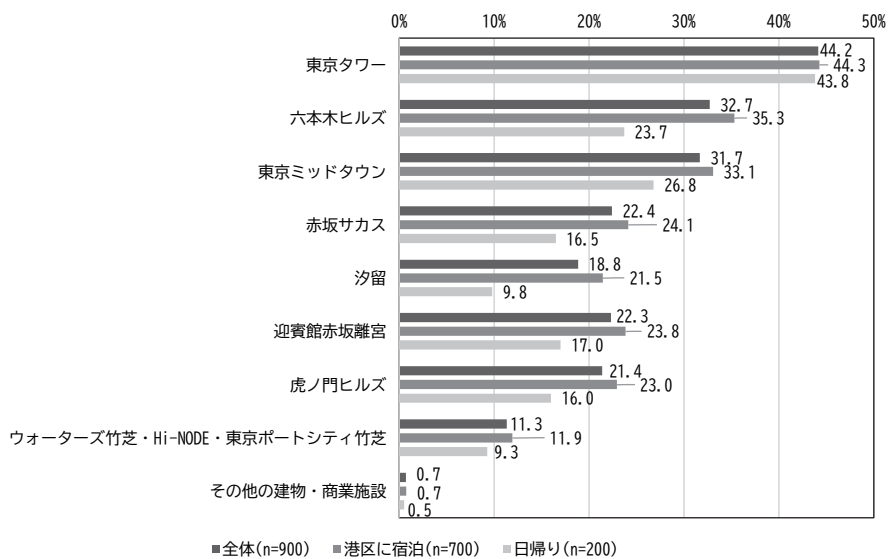
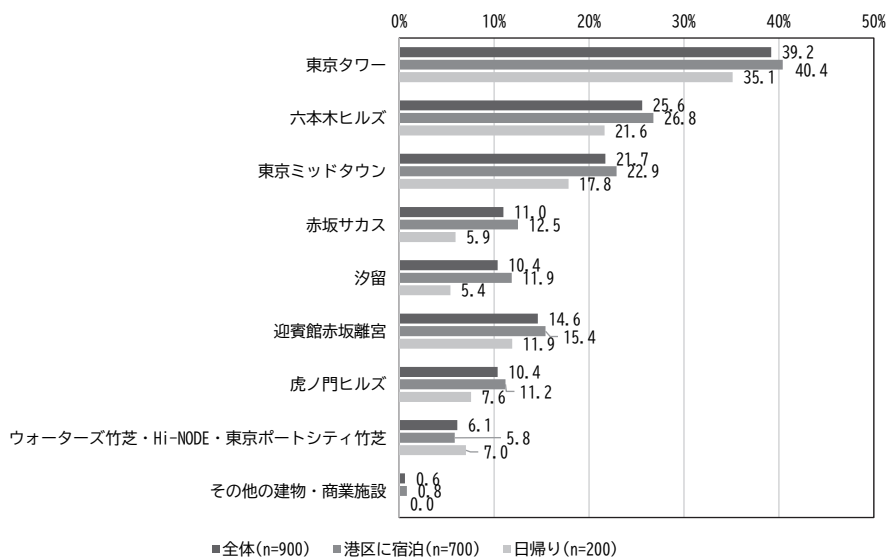


図1-34 薦めたいスポット (建物・商業施設)





(商店街等)

興味があるスポットについて、全体では、「表参道」(36.9%)が4割近くで最も高い。旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「表参道」(各38.5%、31.4%)が最も高い。

薦めたいスポットについて、全体では、「表参道」(29.1%)が約3割と最も高い。旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「表参道」(各30.7%、23.8%)が最も高い。

図1-35 興味があるスポット (商店街等)

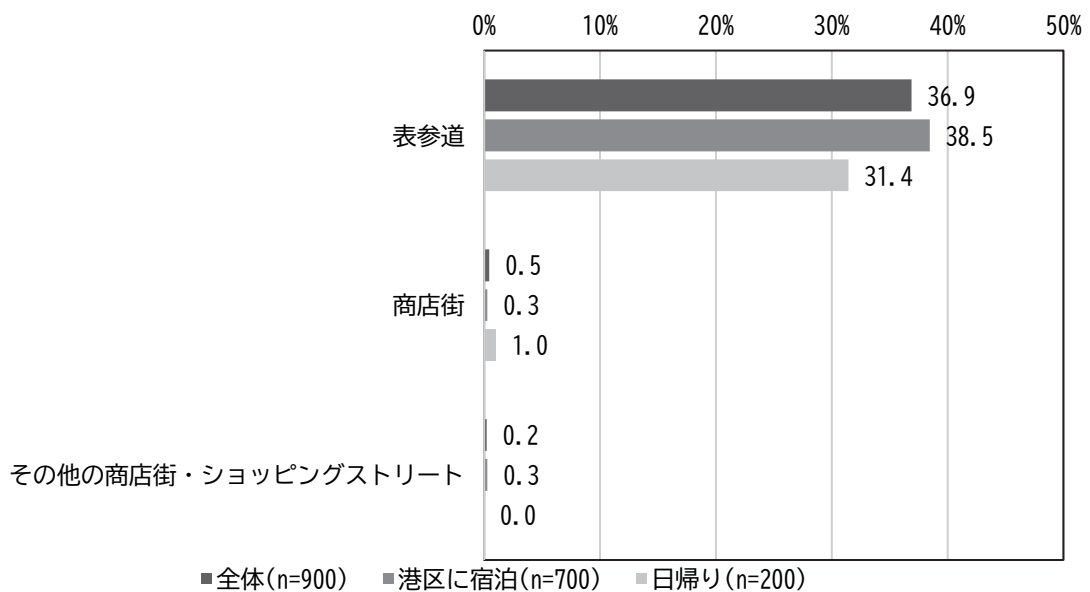
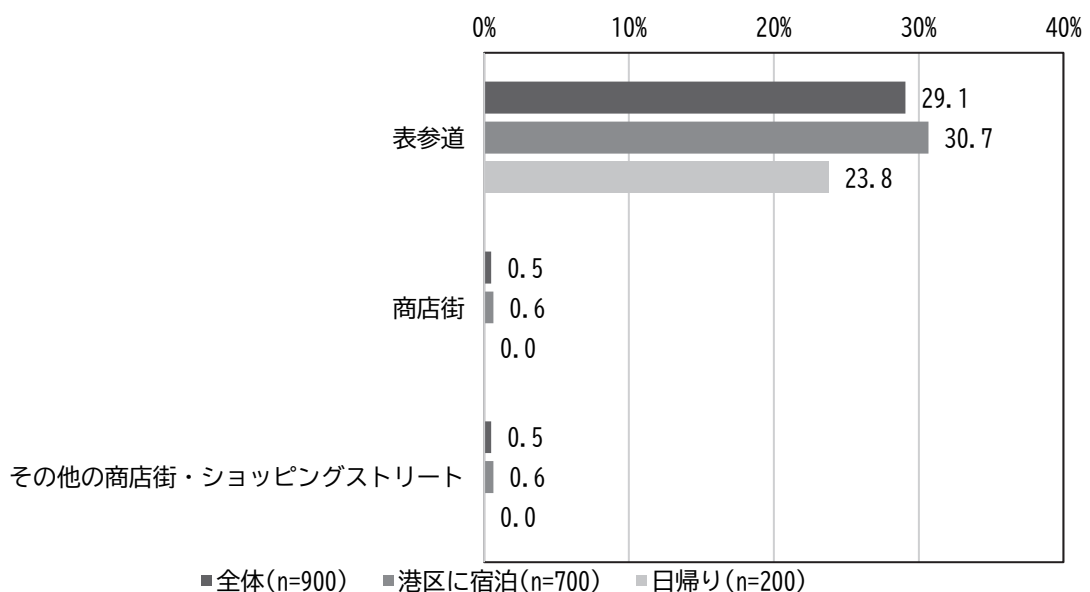


図1-36 薦めたいスポット (商店街等)



(公園・庭園・緑地等)

興味があるスポットについて、全体では、「お台場海浜公園」(21.8%)が2割を超えて最も高く、次いで「旧芝離宮恩賜庭園」(20.5%)である。旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」は「お台場海浜公園」(23.1%)、「日帰り」は「旧芝離宮恩賜庭園」(18.6%)が最も高い。

薦めたいスポットについて、全体では、「お台場海浜公園」(15.7%)が1割半ばと最も高く、次いで「旧芝離宮恩賜庭園」(11.9%)である。旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」は「お台場海浜公園」(17.5%)、「日帰り」は「旧芝離宮恩賜庭園」(12.4%)が最も高い。

図1-37 興味があるスポット (公園・庭園・緑地等)

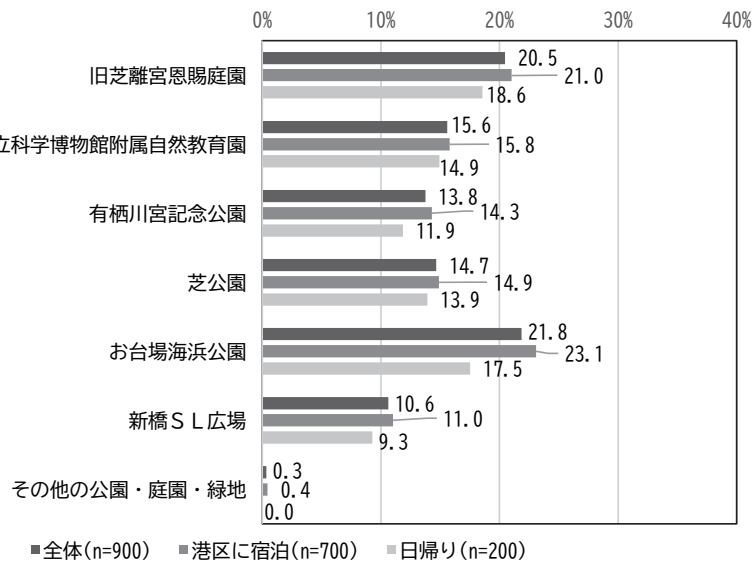
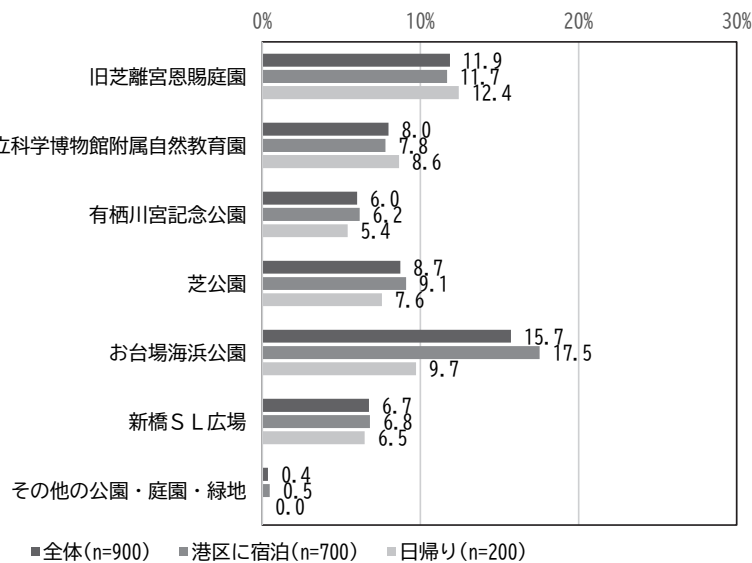


図1-38 薦めたいスポット (公園・庭園・緑地等)



(散歩道・景観スポット)

興味があるスポットについて、全体では、「レインボーブリッジ」(27.7%)が3割近くと最も高い。旅行形態別でみると、「港区に宿泊」は「レインボーブリッジ」(30.7%)、「日帰り」は「神宮外苑」(23.2%)が最も高い。

薦めたいスポットについて、全体では、「レインボーブリッジ」(20.6%)が約2割と最も高い。旅行形態別でみると、「港区に宿泊」は「レインボーブリッジ」(22.2%)、「日帰り」は「神宮外苑」(16.8%)が最も高い。

図1-39 興味があるスポット（散歩道・景観スポット）

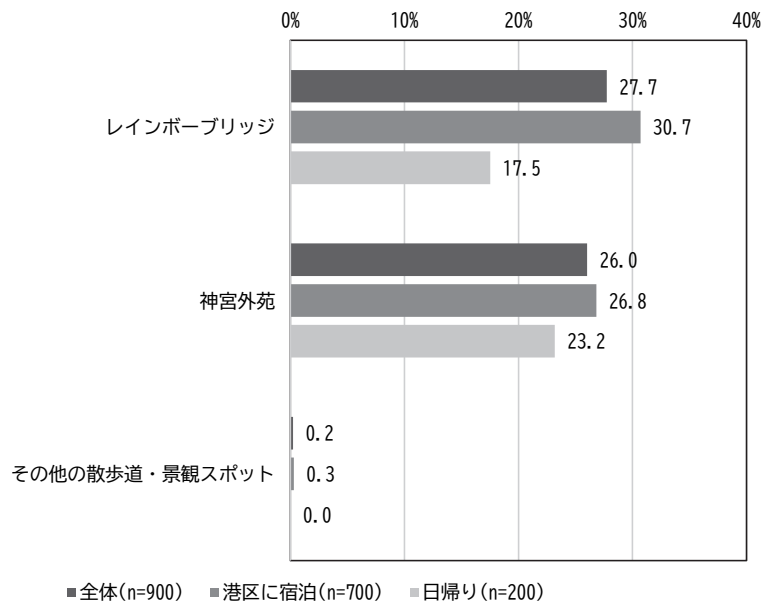
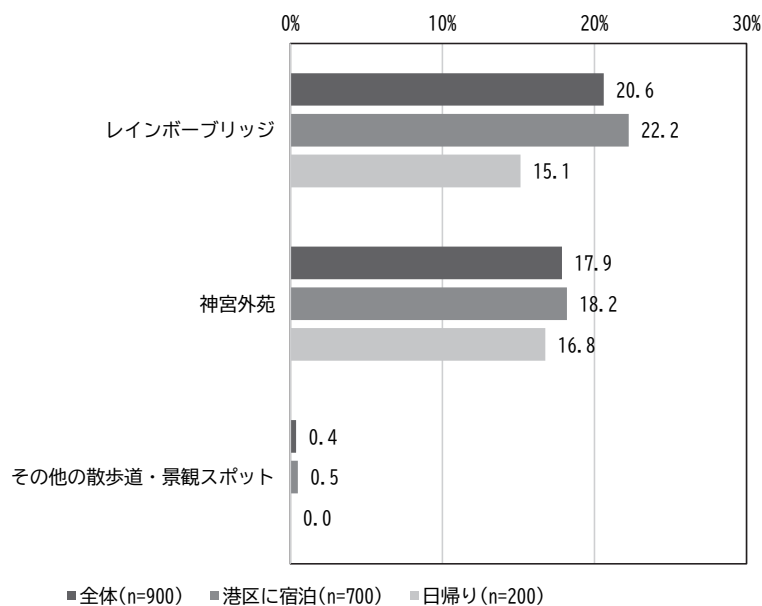


図1-40 薦めたいスポット（散歩道・景観スポット）



(映画館・劇場・アミューズメント施設)

興味があるスポットについて、全体では、「アクアシティお台場」(17.2%)が2割近くと最も高く、次いで「テレビ局の見学」(14.5%)である。旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「アクアシティお台場」(各18.3%、13.4%)が最も高い。

薦めたいスポットについて、全体では、「アクアシティお台場」(9.6%)が最も高い。旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「アクアシティお台場」(各9.3%、10.8%)が最も高い。

図1-41 興味があるスポット (映画館・劇場・アミューズメント施設)

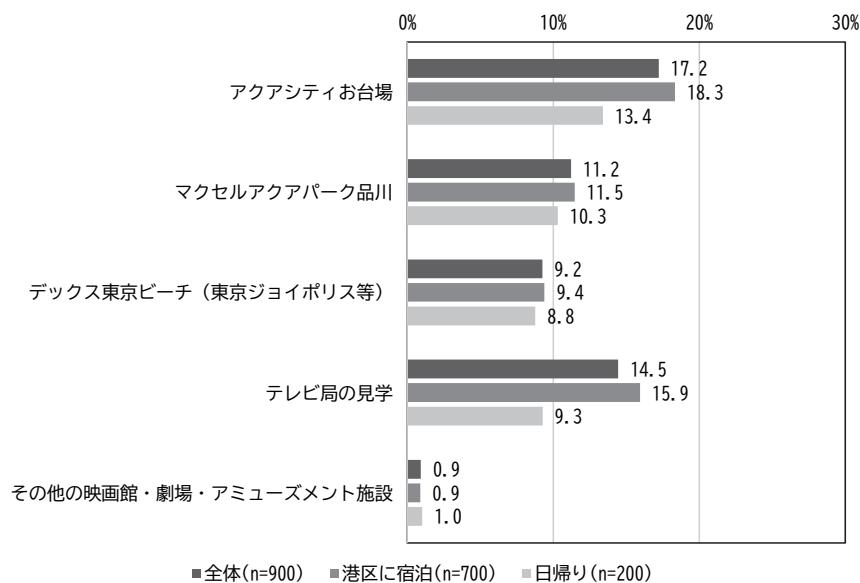
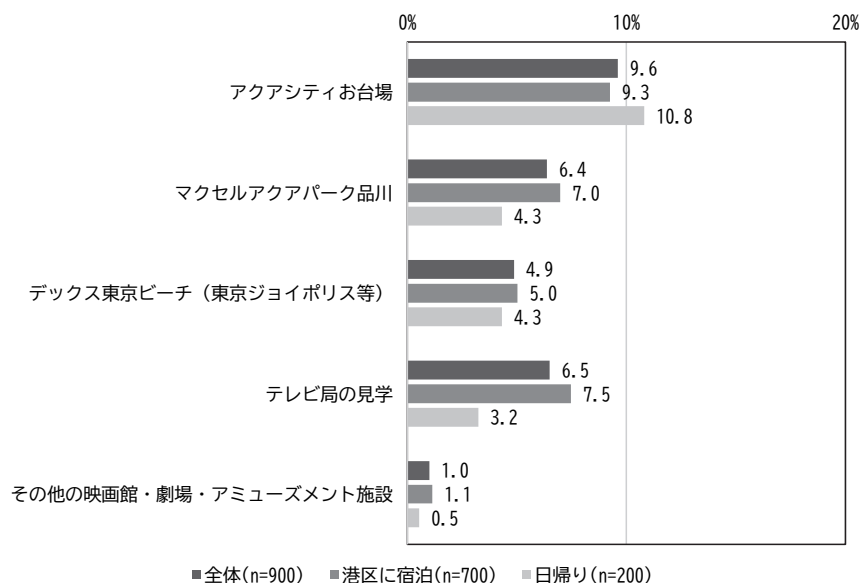


図1-42 薦めたいスポット (映画館・劇場・アミューズメント施設)



(美術館・資料館)

興味があるスポットについて、全体では、「国立新美術館」(27.3%)が3割近くで最も高く、次いで「サントリー美術館」(24.3%)である。旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「国立新美術館」(各27.7%、25.8%)が最も高い。

薦めたいスポットについて、全体では、「国立新美術館」(15.9%)が1割半ばと最も高く、次いで「サントリー美術館」(12.0%)である。旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「国立新美術館」(各15.9%、15.7%)が最も高い。

図1-43 興味があるスポット (美術館・資料館)

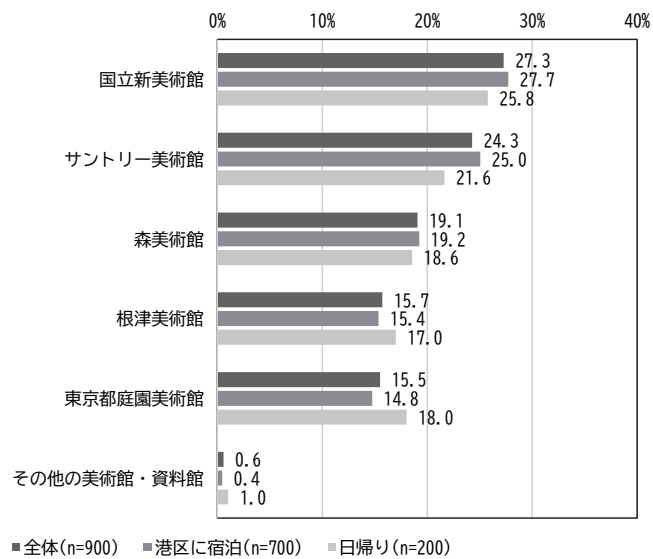
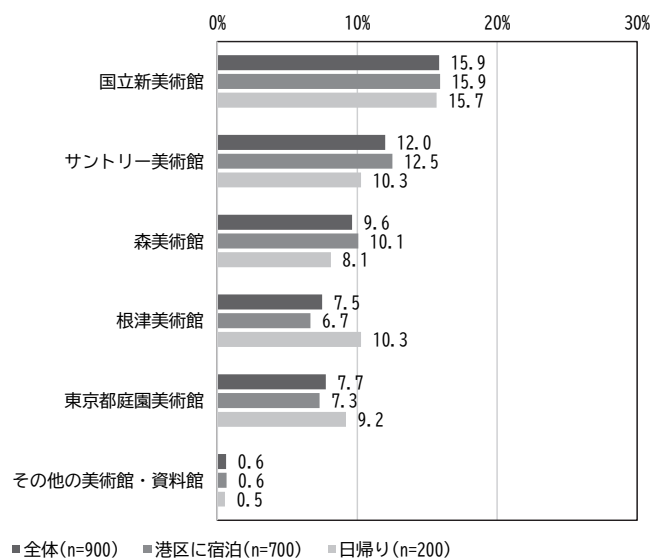


図1-44 薦めたいスポット (美術館・資料館)



### (乗り物)

興味があるスポットについて、全体では、「屋形船・クルーズ」(22.4%)が2割を超えて最も高く、次いで「水上バス」(17.0%)である。旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」が「屋形船・クルーズ」(23.2%)、「日帰り」が「屋形船・クルーズ」、「水上バス」(各19.6%)が最も高い。

薦めたいスポットについて、全体では、「屋形船・クルーズ」(13.1%)が1割を超えて最も高く、次いで「ゆりかもめ」(12.0%)である。旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」と「日帰り」はともに「屋形船・クルーズ」(各13.6%、11.4%)が最も高い。

図1-45 興味があるスポット (乗り物)

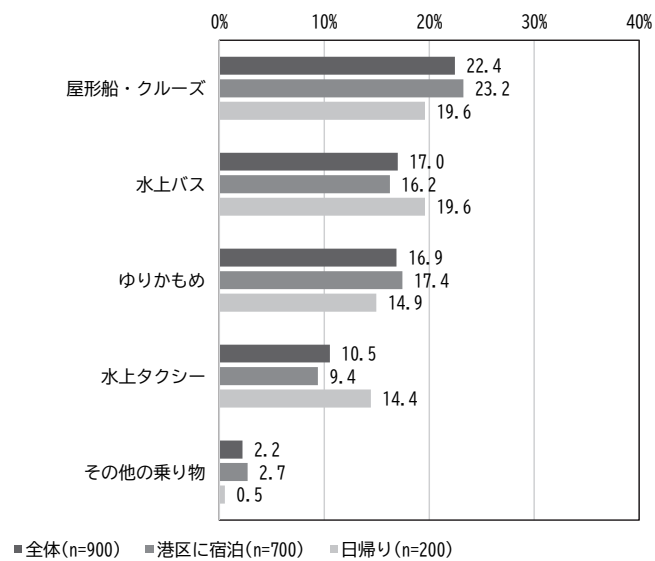
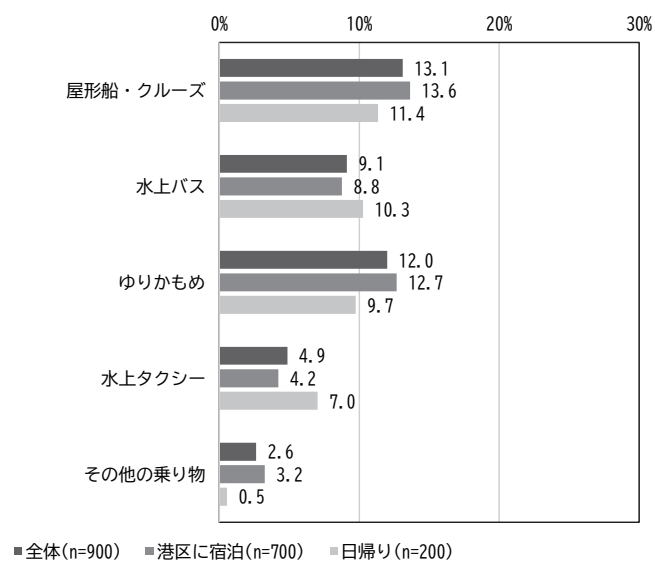


図1-46 薦めたいスポット (乗り物)



問8 港区内の旅行中のそれぞれの費用（消費額）をお答えください。（概ね千円単位）

【港区での観光消費額】

観光消費額全体の合計金額は 38,707 千円、平均金額は 43 千円である。

使途別に全体の平均金額をみると、「宿泊費」（22 千円）と最も高く、次いで「飲食費」（13 千円）である。

観光消費額全体の平均金額において、性別でみると、「男性」が 41 千円、「女性」が 47 千円である。年代別でみると、「60 歳代」が 50 千円と最も高くなっている。

表1-1 港区での観光消費額

宿泊費		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		694	15,005	22
旅行形態別	日帰り	0	0	0
	宿泊	694	15,005	22
飲食費		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		896	11,317	13
旅行形態別	日帰り	200	1,383	7
	宿泊	696	9,934	14
施設入場料		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		886	2,229	3
旅行形態別	日帰り	200	282	1
	宿泊	686	1,947	3
ショッピング		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		897	7,511	8
旅行形態別	日帰り	200	1,181	6
	宿泊	697	6,330	9
交通費		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		880	2,646	3
旅行形態別	日帰り	199	285	1
	宿泊	681	2,361	3
観光消費額計		サンプル数	合計金額（千円）	平均金額（千円）
全体		899	38,707	43
性別	男性	608	24,986	41
	女性	291	13,722	47
年代別	20歳代	149	5,179	35
	30歳代	165	7,434	45
	40歳代	165	6,737	41
	50歳代	166	7,430	45
	60歳代	181	8,976	50
	70歳以上	73	2,951	40
旅行形態別	日帰り	200	3,131	16
	宿泊	699	35,576	51

（注1）「(平均金額) ± 3 × (標準偏差)」にて算出した金額を上回る特異値を除外した上で、観光消費額を算出している。また、千円未満を四捨五入しているため、全体の値と費目の積み上げ値が一致しない場合がある。

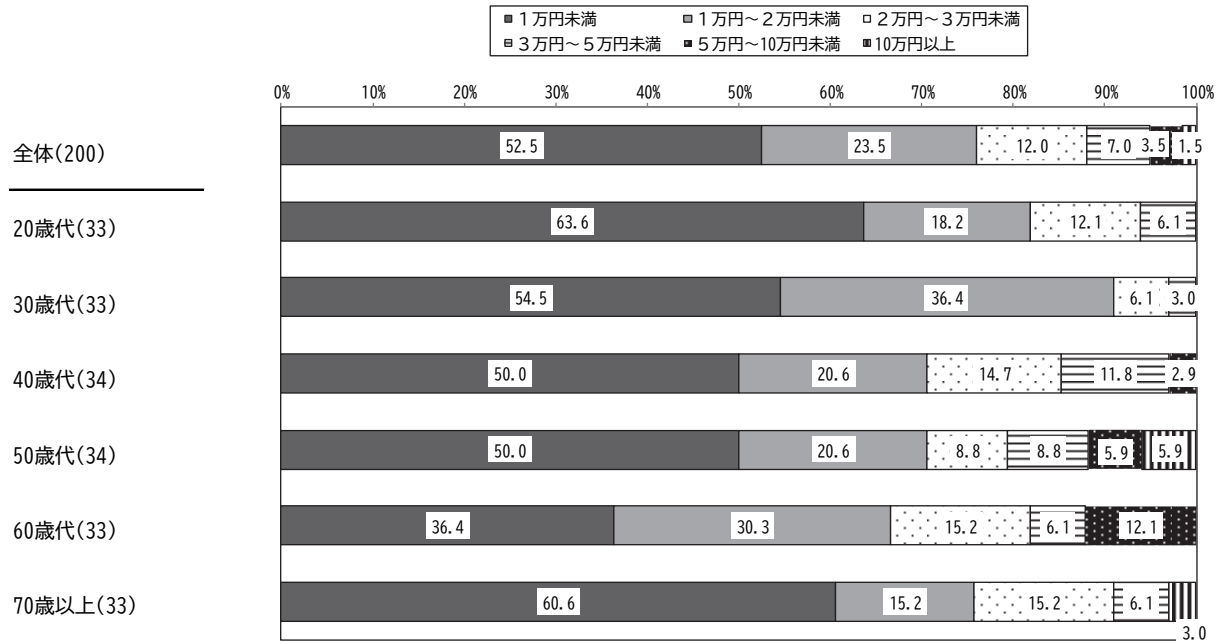
## 【観光消費額の分布】

(日帰り)

全体では、「1万円未満」(52.5%)が5割を超えて最も高く、次いで「1万円～2万円未満」(23.5%)が2割を超える。

年代別で見ると、「50歳代」は「10万円以上」(5.9%)が他の年代と比べて割合が高い。

図1-47 観光消費額と分布(日帰り、年代別)



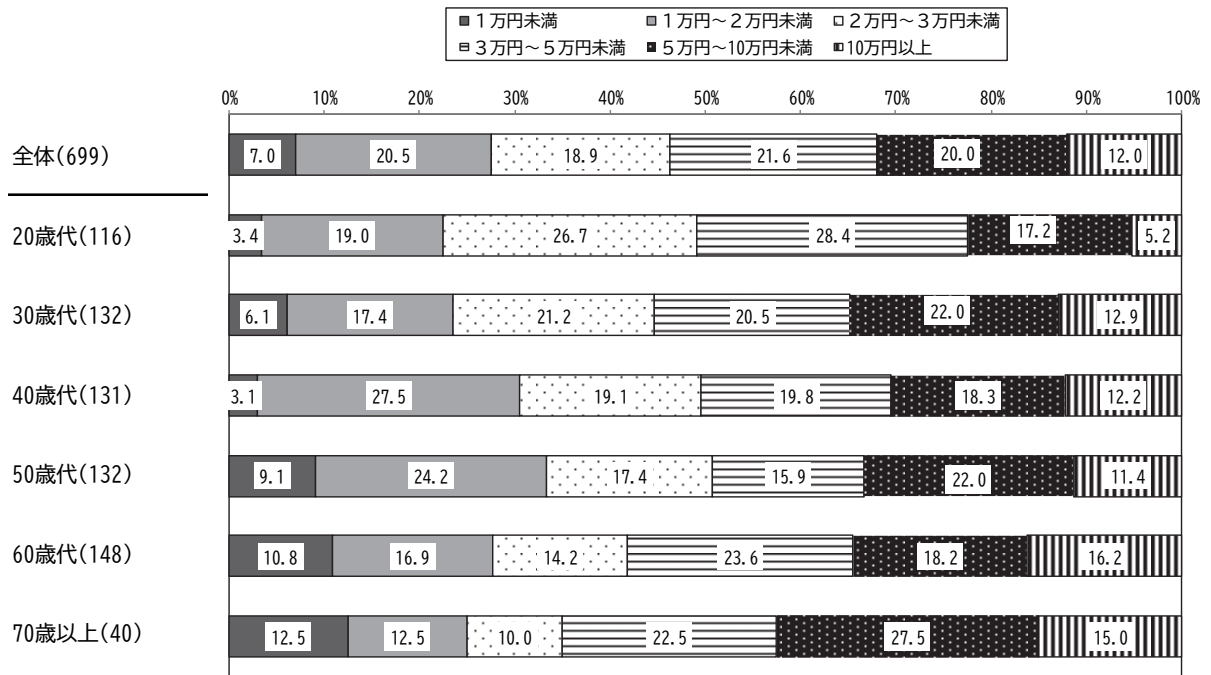


(宿泊)

全体では、「3万円～5万円未満」(21.6%)が2割を超えて最も高く、次いで「1万円～2万円未満」(20.5%)が約2割である。

年代別で見ると、「60歳代」は「10万円以上」(16.2%)が他の年代と比べて最も割合が高い。

図1-48 観光消費額と分布(宿泊、年代別)

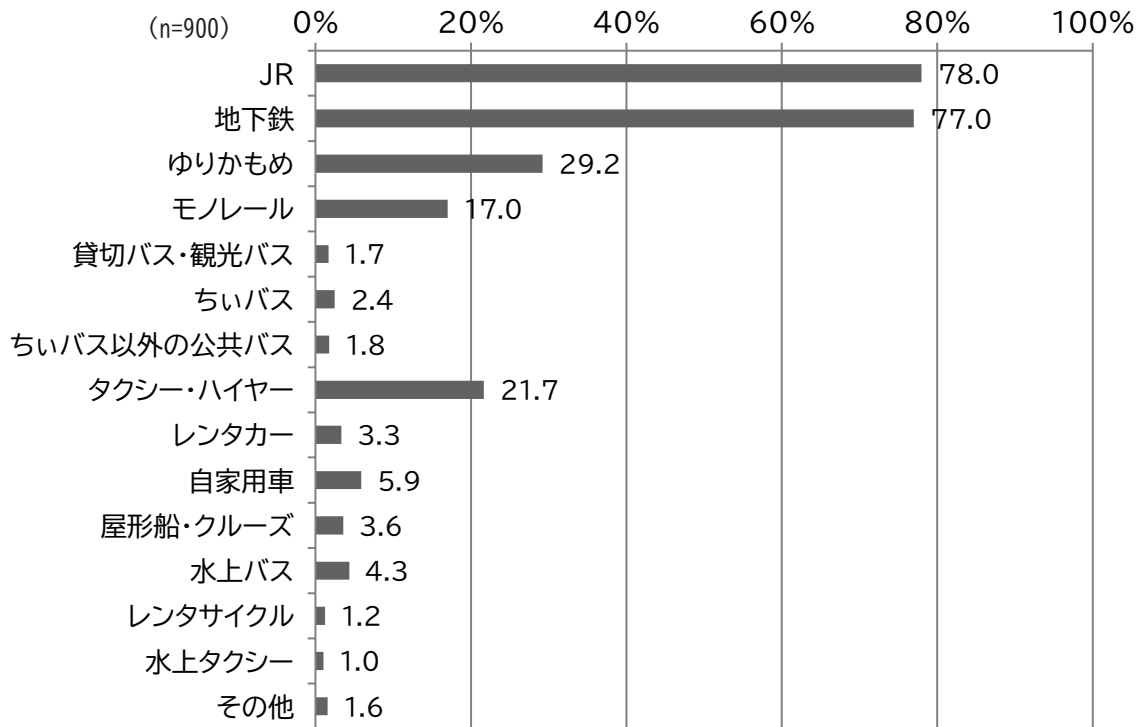


問9 港区内旅行中に利用された交通機関をお答えください。(いくつでも)

【港区内で利用した交通機関】

港区内で利用した交通機関は、「JR」(78.0%)が8割近くと最も高く、次いで「地下鉄」(77.0%)である。

図1-49 港区内で利用した交通機関



## ウ 旅行の際に情報を入手する方法について

問 10 出発前には、港区の旅行情報を得るために、次のどの情報源を利用しましたか。（いくつでも）

### 【出発前に参考にした情報源】

出発前に旅行情報を得るために情報源を利用した人のうち、全体では、「宿泊予約サイト」（26.3%）が2割半ばで最も高く、次いで「旅行会社ホームページ」（21.0%）、「SNS（Facebook/Twitter/Instagram等）」（20.3%）である。

性別で見ると、「女性」が「男性」よりも10ポイント以上高い情報源として、「SNS（Facebook/Twitter/Instagram等）」が20.2ポイント差（女性34.0%、男性13.8%）である。

年代別で見ると、「20歳代」と「30歳代」は「SNS（Facebook/Twitter/Instagram等）」（各45.6%、33.9%）が最も高く、「40歳代」以降は「宿泊予約サイト」が最も高い。

図1-50 出発前に参考にした情報源

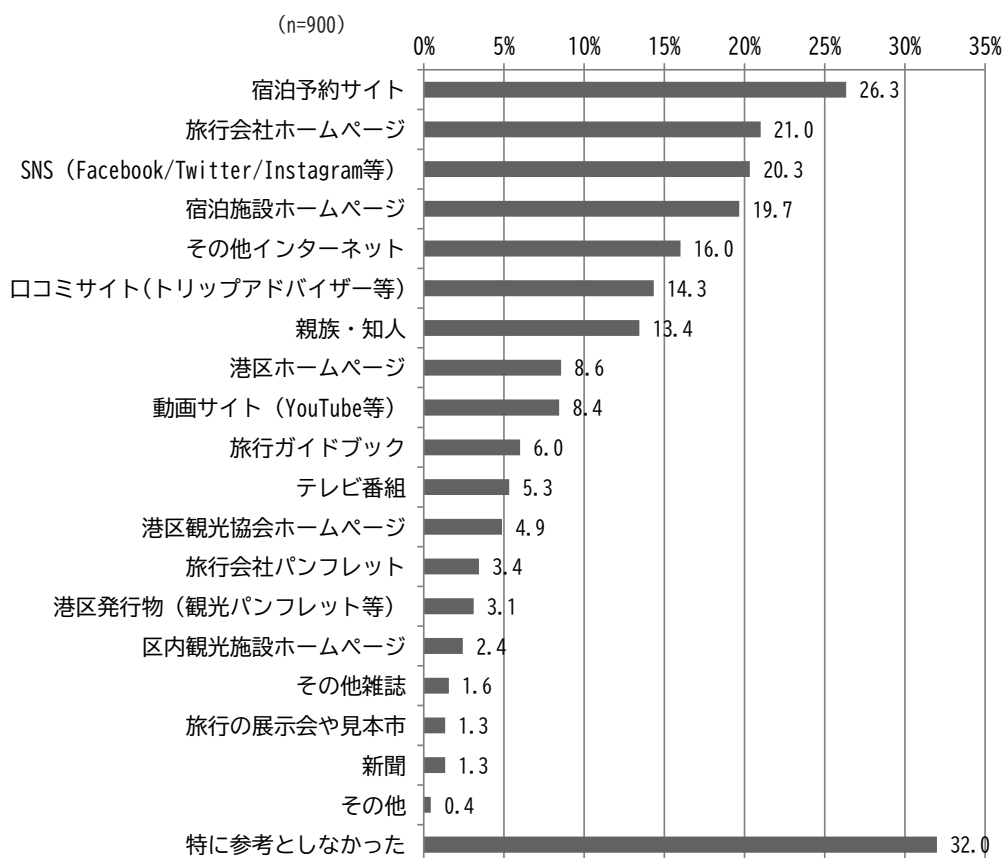
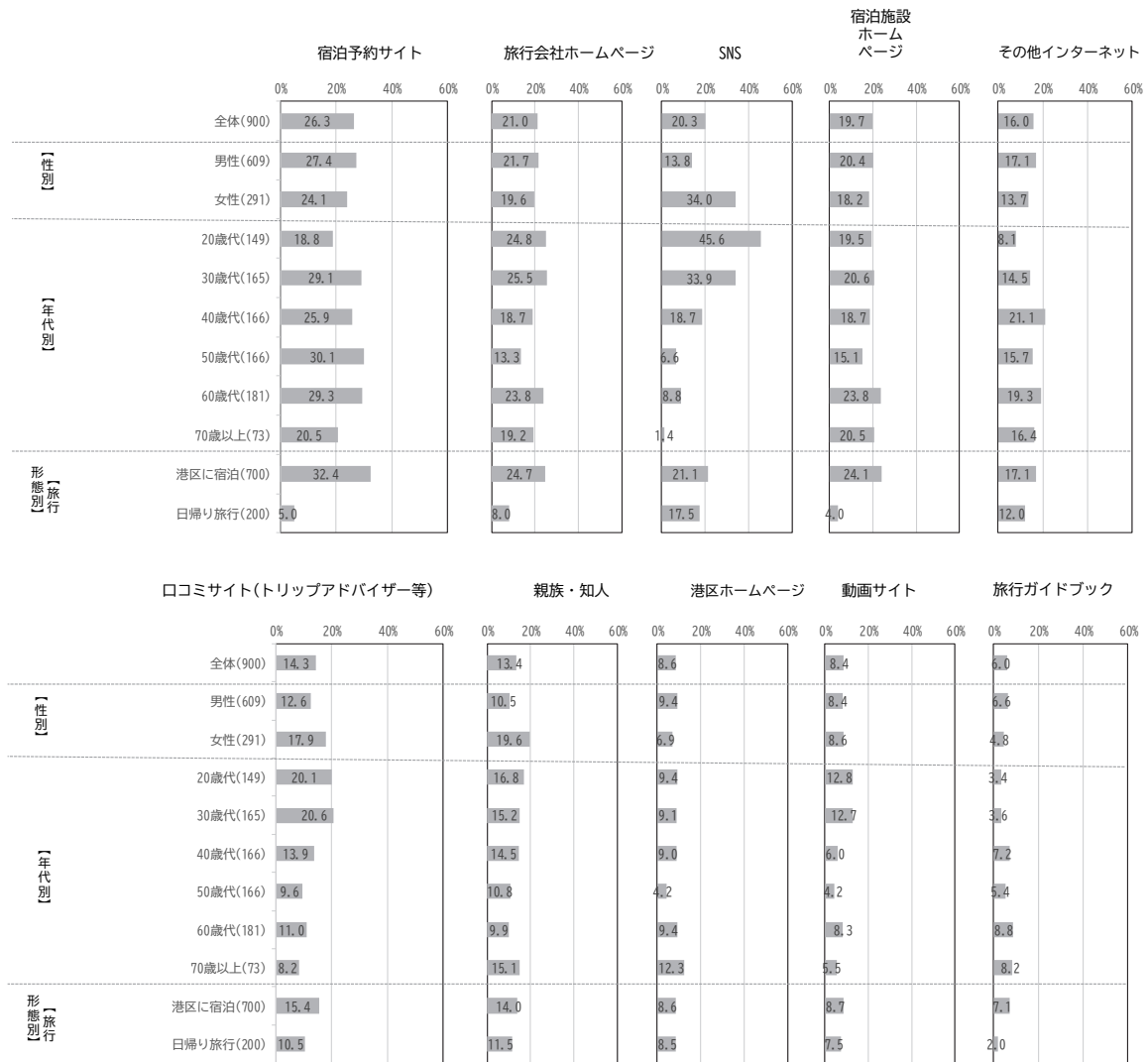


図1-51 出発前に参考にした情報源（上位10項目、性別・年代別・旅行形態別）



問11 港区内での滞在中には、港区に関する情報を得るのに、次のどの情報源を利用しましたか。（いくつでも）

【滞在中に参考にした情報源】

滞在中に港区の情報を得るために情報源を利用した人のうち、全体では、「インターネット」（43.1%）が4割を超えて最も高く、次いで「SNS（Facebook/Twitter/Instagram等）」（18.4%）、「宿泊施設」（14.4%）である。

性別で見ると、「女性」が「男性」よりも10ポイント以上高い情報源として、「SNS（Facebook/Twitter/Instagram等）」が14.4ポイント差（女性28.2%、男性13.8%）である。

年代別で見ると、「インターネット」は「20歳代」を除いた全ての年代で最も高くなっている。「SNS（Facebook/Twitter/Instagram等）」は「20歳代」（39.6%）が最も高い。

図1-52 滞在中に参考にした情報源

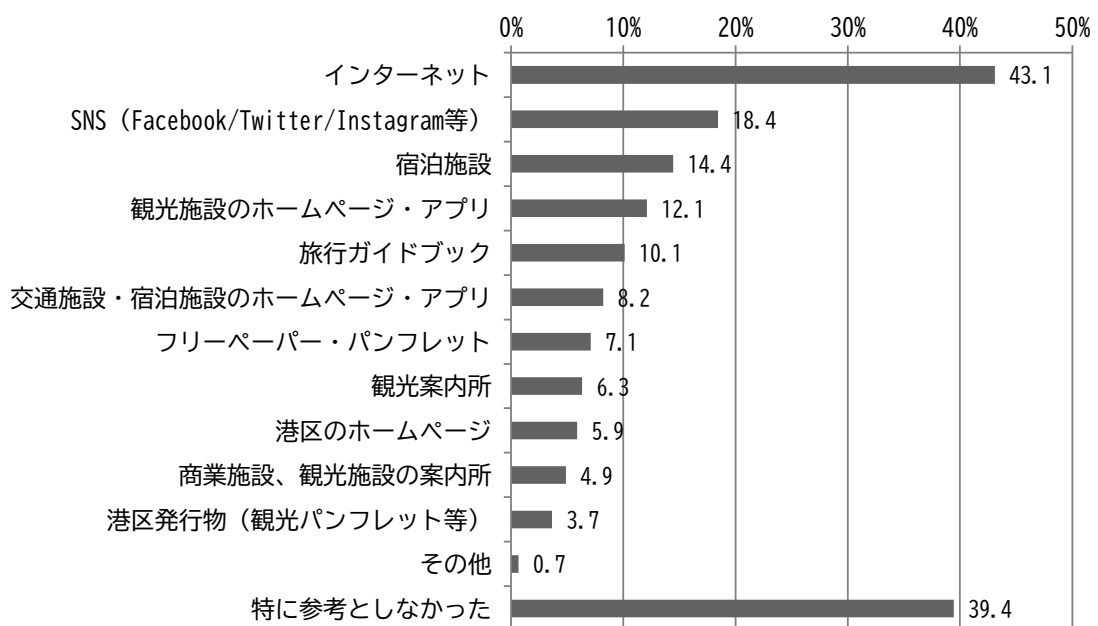
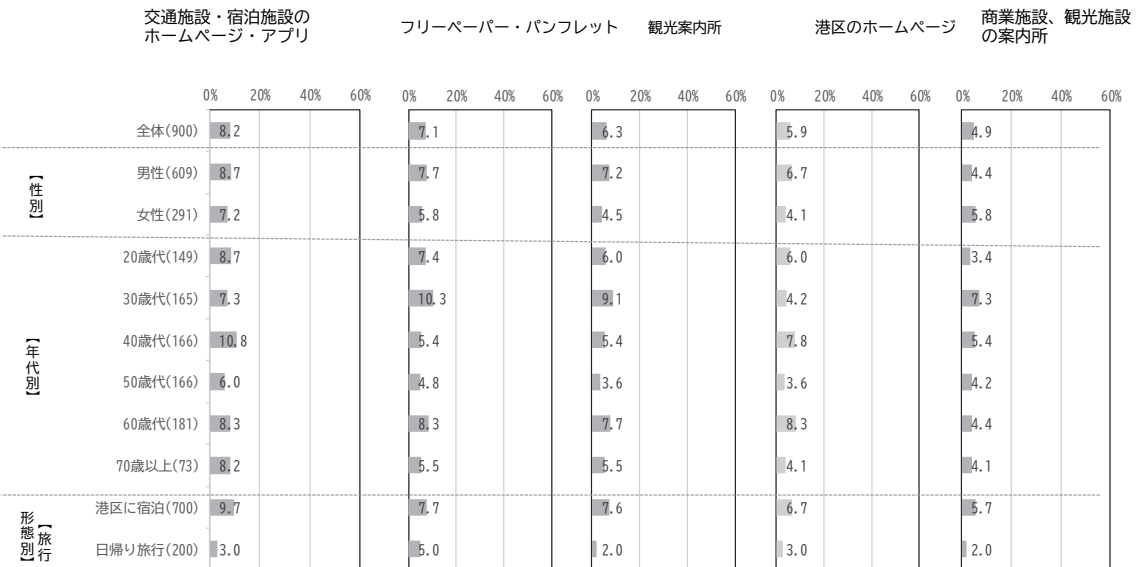
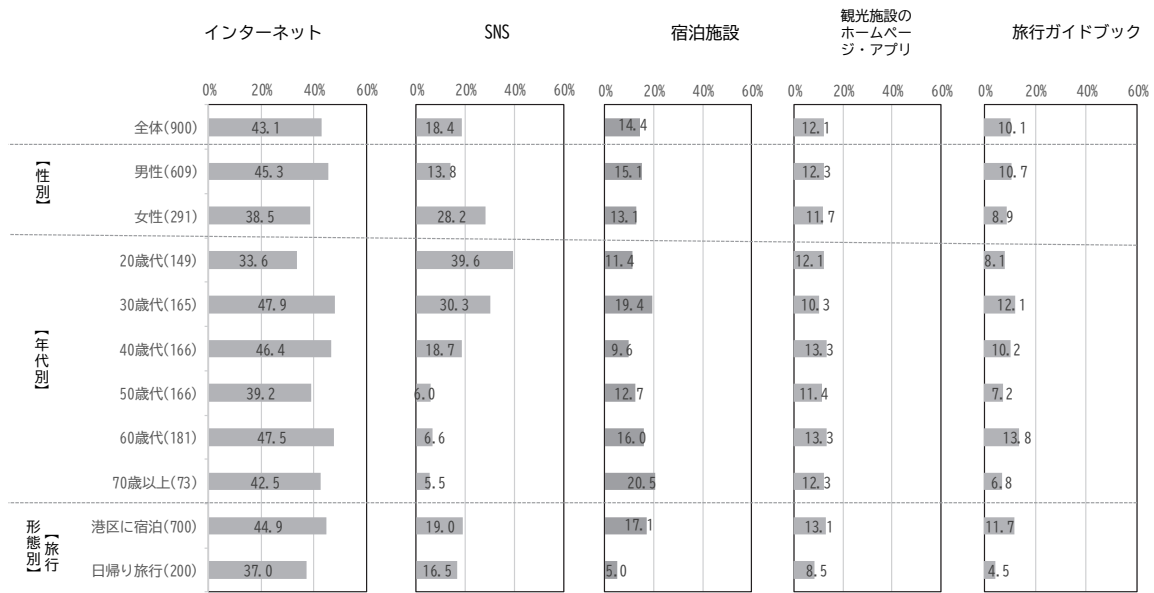


図1-53 滞在中に参考にした情報源（上位10項目、性別・年代別・旅行形態別）



問 12 港区が提供する観光情報の内容に対する満足度はどれくらいですか。  
※問 10 で「港区ホームページ」「港区観光協会ホームページ」「区内観光施設ホームページ」「港区発行物（観光パンフレット等）」、問 11 で「港区のホームページ」「港区発行物（観光パンフレット等）」のいずれかに回答した方が対象(n=121)。

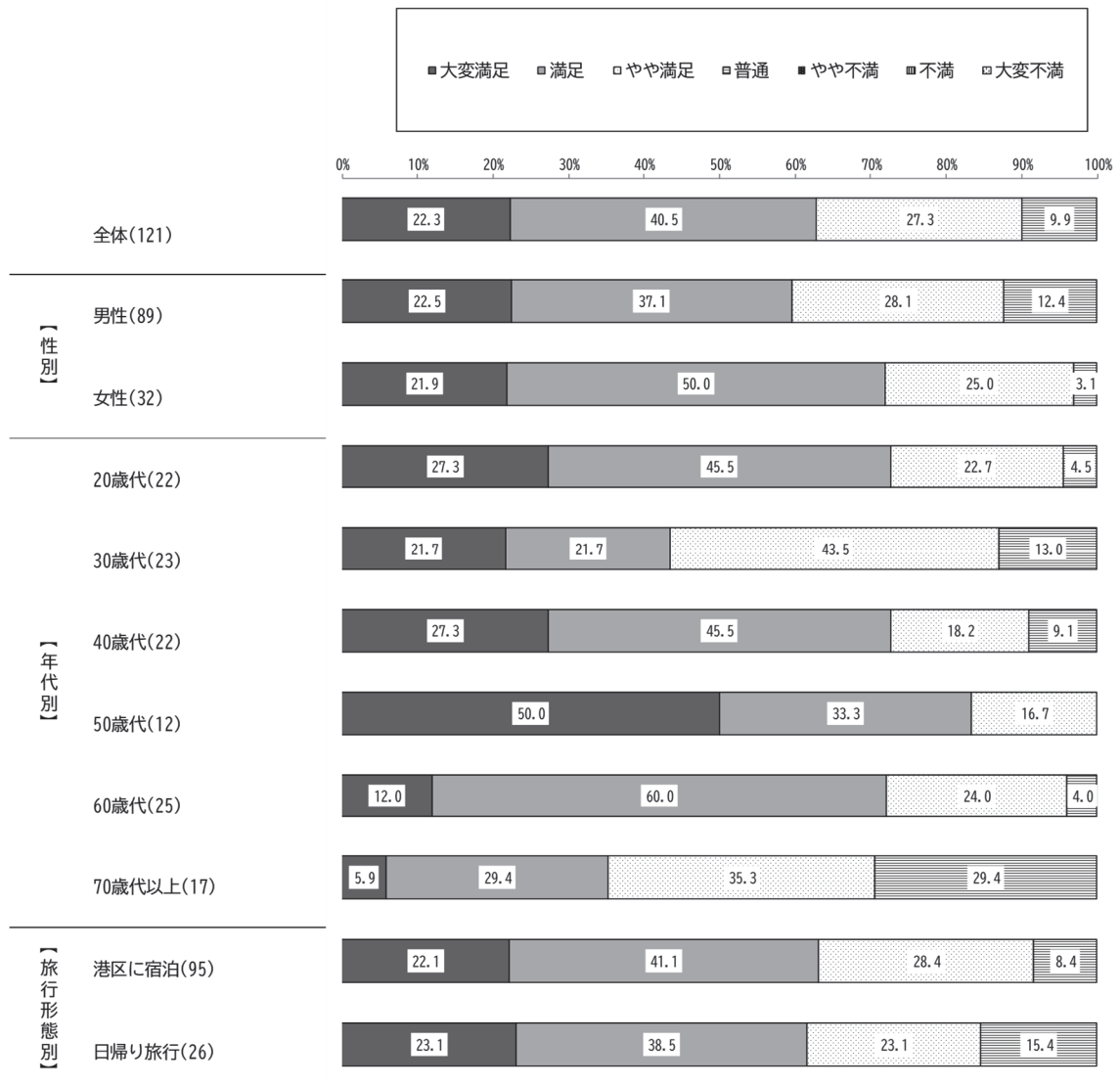
**【観光情報の内容に対する満足度】**

全体では、「満足」（40.5%）が約4割と最も高く、次いで「やや満足」（27.3%）、「大変満足」（22.3%）である。なお、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』（90.1%）は9割である。

性別でみると、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』は男性が87.7%、女性は96.9%である。

旅行形態別でみると、「港区に宿泊」は「満足」（41.1%）が4割を超えて最も高く、次いで「やや満足」（28.4%）、「大変満足」（22.1%）である。なお、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』（91.6%）は9割を超える。

図1-54 観光情報の内容に対する満足度





## エ 港区観光の評価について

問 13 港区観光の満足度はどれくらいですか。

問 13-1 具体的にどのような点が満足できましたか。ご自由にお答えください。

問 13-2 具体的にどのような点が満足できませんでしたか。ご自由にお答えください。

### 【港区観光の満足度】

全体では、「満足」(40.6%)が約4割と最も高く、次いで「普通」(25.3%)、「やや満足」(17.9%)である。なお、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』(73.6%)は7割を超える。

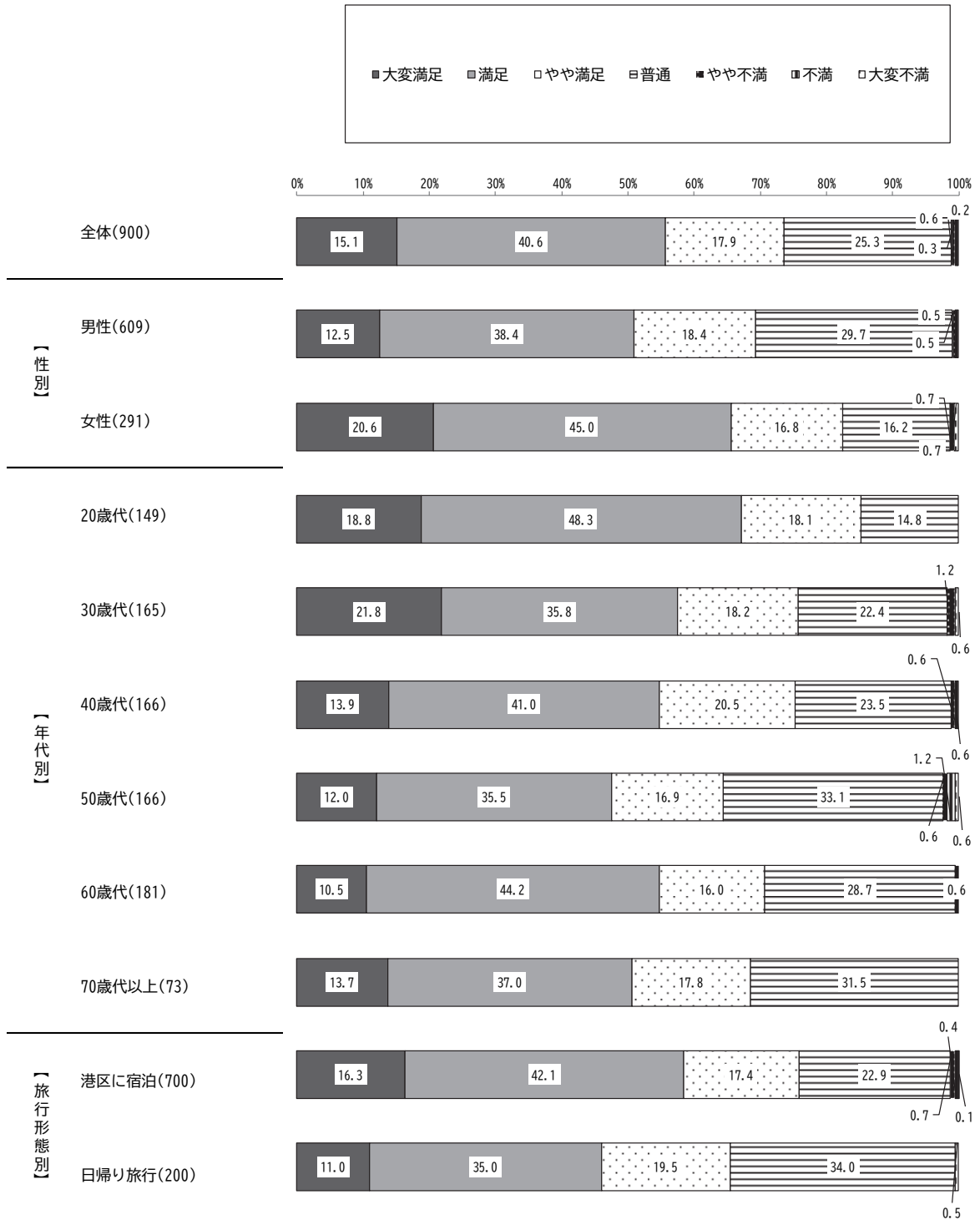
性別で見ると、「満足」が「男性」(38.4%)、「女性」(45.0%)とそれぞれ最も高く、『満足』は「女性」(82.4%)が8割を超える。

年代別で見ると、全ての年代においては「満足」が最も高い。

旅行形態別で見ると、「港区に宿泊」と「日帰り旅行」とともに「満足」(各42.1%、35.0%)が最も高い。

具体的に満足できた点は「観光関連施設が多く、きれいである」、「交通の便が良い」、「都会の雰囲気満喫できる」等が挙げられている。

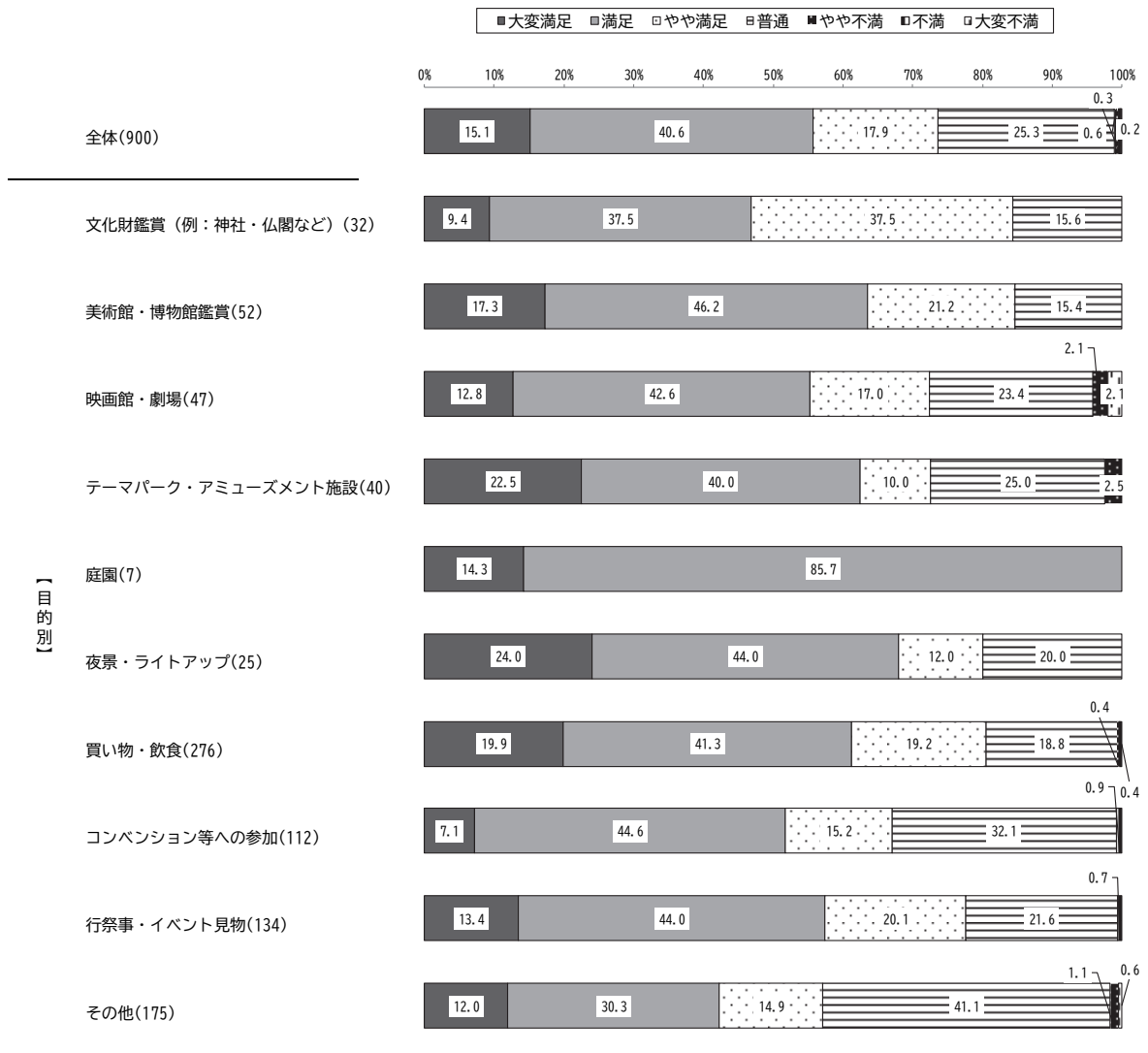
図1-55 港区観光の満足度



### 【港区観光の満足度＜来訪時の主目的別＞】

来訪時の主目的別でみると、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』は「美術館・博物館鑑賞」（84.7%）が8割半ばと最も高く、次いで「文化財鑑賞」（84.4%）である。

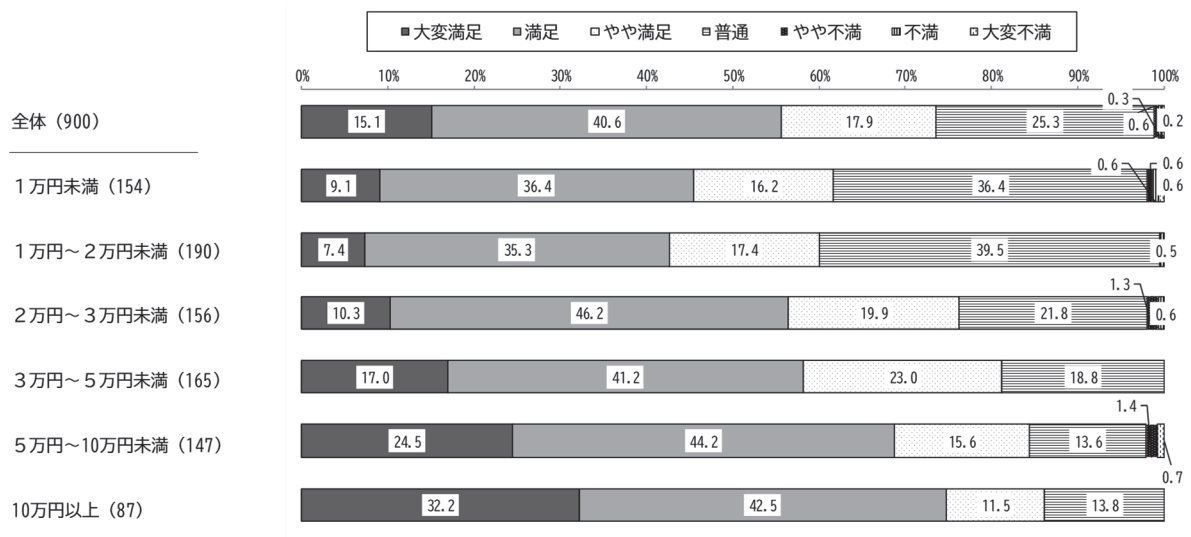
図1－56 港区観光の満足度＜来訪時の主目的別＞



【港区観光の満足度＜観光消費額の分布別＞】

観光消費額の分布別で見ると、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』は「10万円以上」（86.2%）が8割半ばと最も高く、次いで「5万円～10万円未満」（84.3%）である。

図1－57 港区観光の満足度＜観光消費額の分布別＞



問 14 港区ではホスピタリティ(おもてなし)は感じられましたか。

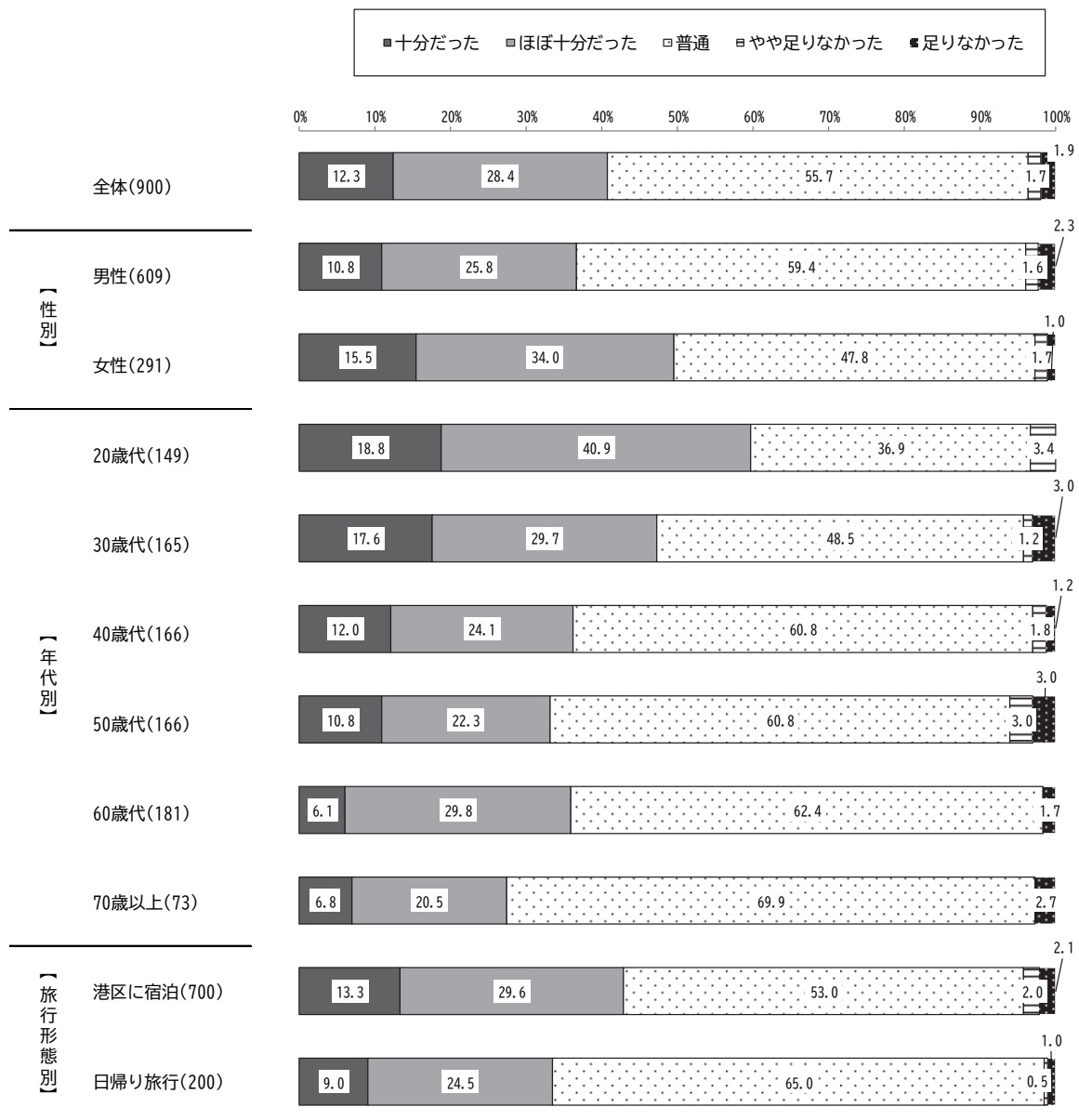
【ホスピタリティ (おもてなし) の満足度】

全体では、「普通」(55.7%)が5割半ばで最も高く、次いで「ほぼ十分だった」(28.4%)である。「十分だった」及び「ほぼ十分だった」を合わせた『十分』(40.7%)は約4割である。

年代別でみると、20歳代を除いて「普通」がどの年代においても最も高く、「20歳代」は「ほぼ十分だった」(40.9%)が最も高い。

旅行形態別でみると、「港区に宿泊」と「日帰り旅行」とともに「普通」(各53.0%、65.0%)が最も高い。

図1-58 ホスピタリティ (おもてなし) の満足度



問 15 適切な数の案内表示が設置されていると感じられましたか。

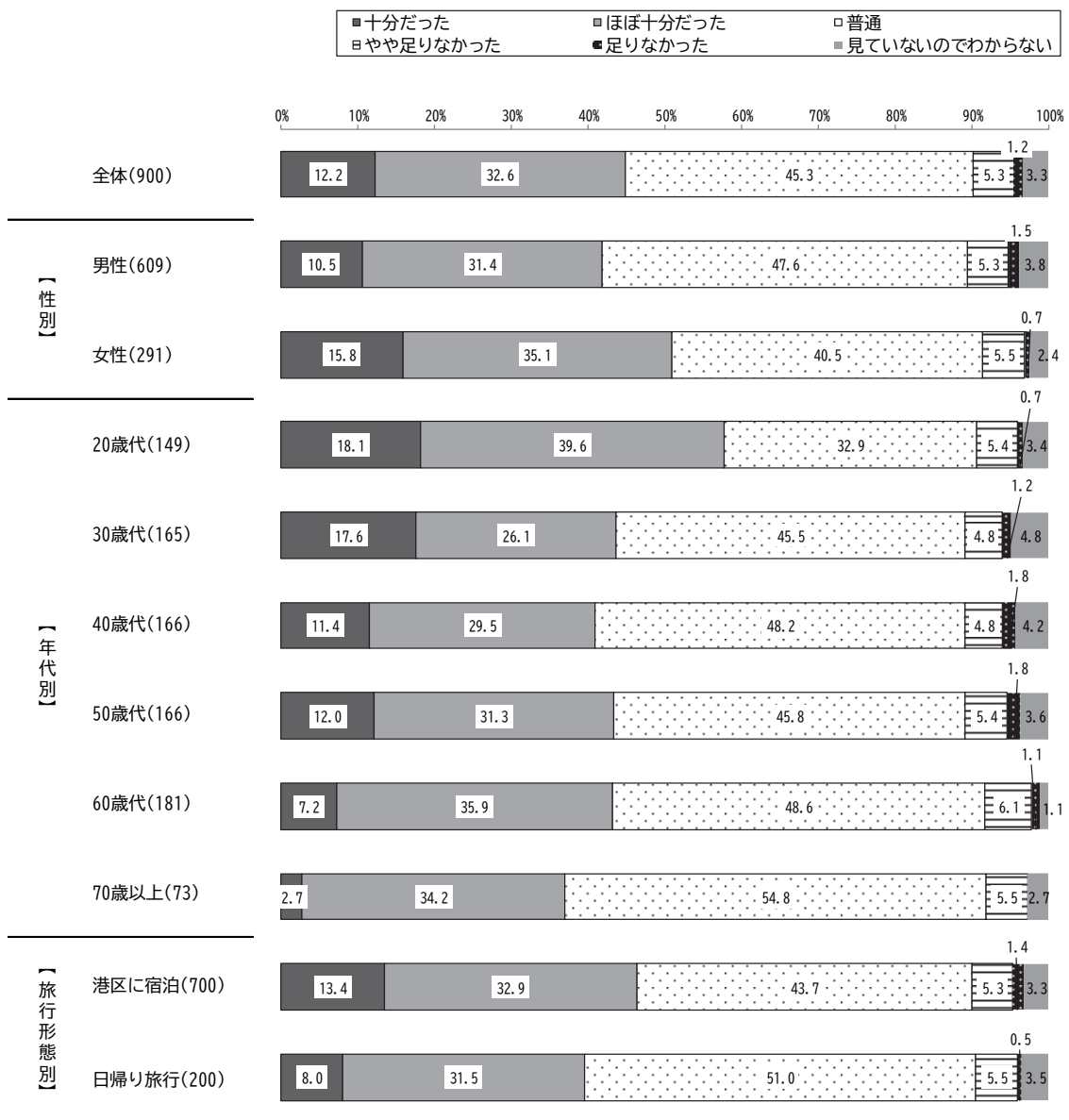
【案内表示の設置数】

全体では、「普通」（45.3%）が4割半ばで最も高く、次いで「ほぼ十分だった」（32.6%）である。「十分だった」及び「ほぼ十分だった」を合わせた『十分』（44.8%）は4割半ばである。

年代別でみると、20歳代を除いて「普通」がどの年代においても最も高く、「20歳代」は「ほぼ十分だった」（39.6%）が最も高い。

旅行形態別でみると、「港区に宿泊」と「日帰り旅行」とともに「普通」（各43.7%、51.0%）が最も高い。

図1-59 案内表示の設置数



問 16 案内表示はわかりやすかったですか。

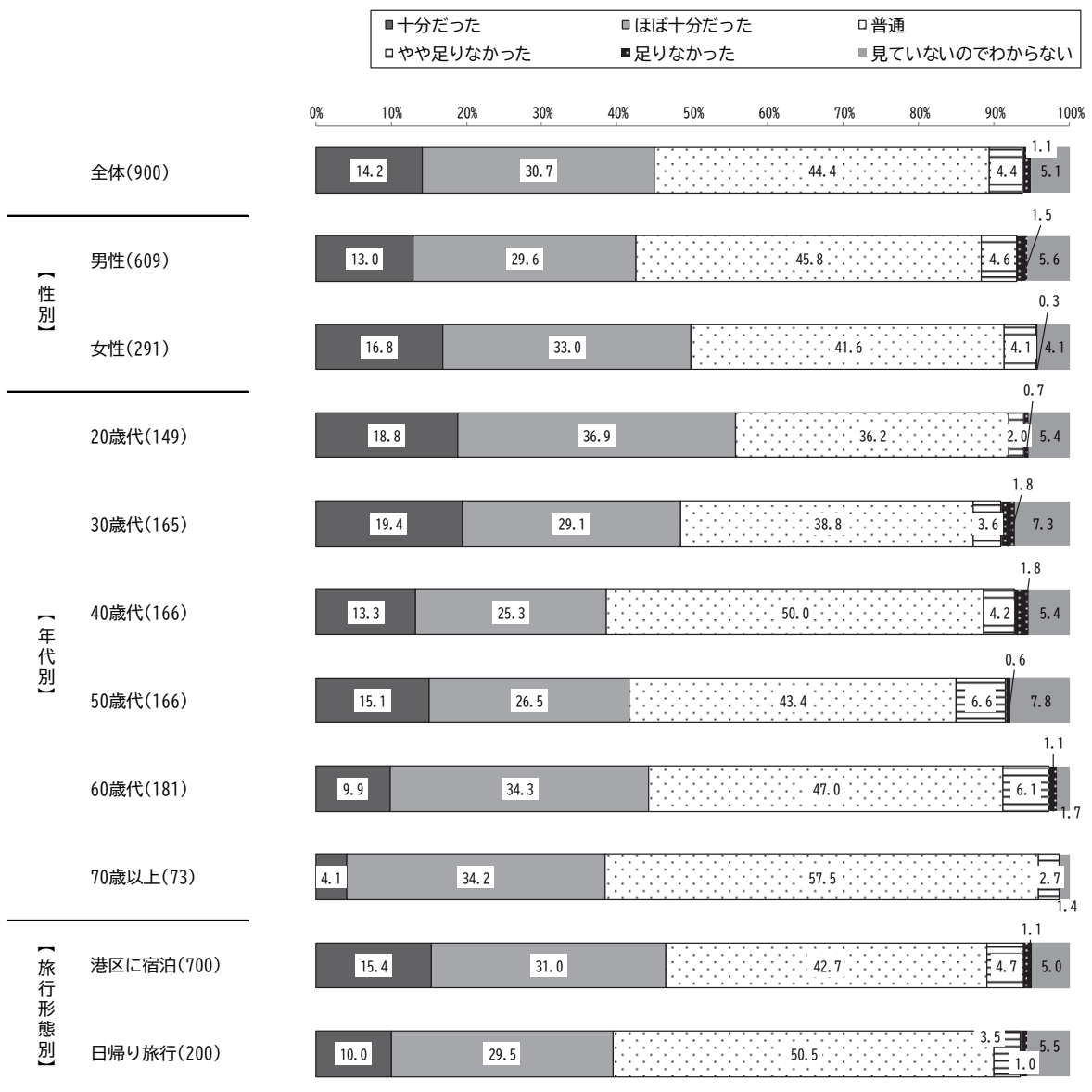
【案内表示のわかりやすさ】

全体では、「普通」（44.4%）が4割半ばと最も高く、次いで「ほぼ十分だった」（30.7%）である。「十分だった」及び「ほぼ十分だった」を合わせた『十分』（44.9%）は4割半ばである。

年代別でみると、20歳代を除いて「普通」がどの年代においても最も高く、「20歳代」は「ほぼ十分だった」（36.9%）が最も高い。

旅行形態別でみると、「港区に宿泊」と「日帰り旅行」とともに「普通」（各42.7%、50.5%）が最も高い。

図1－60 案内表示のわかりやすさ



問17 交通アクセスの状況はいかがでしたか。

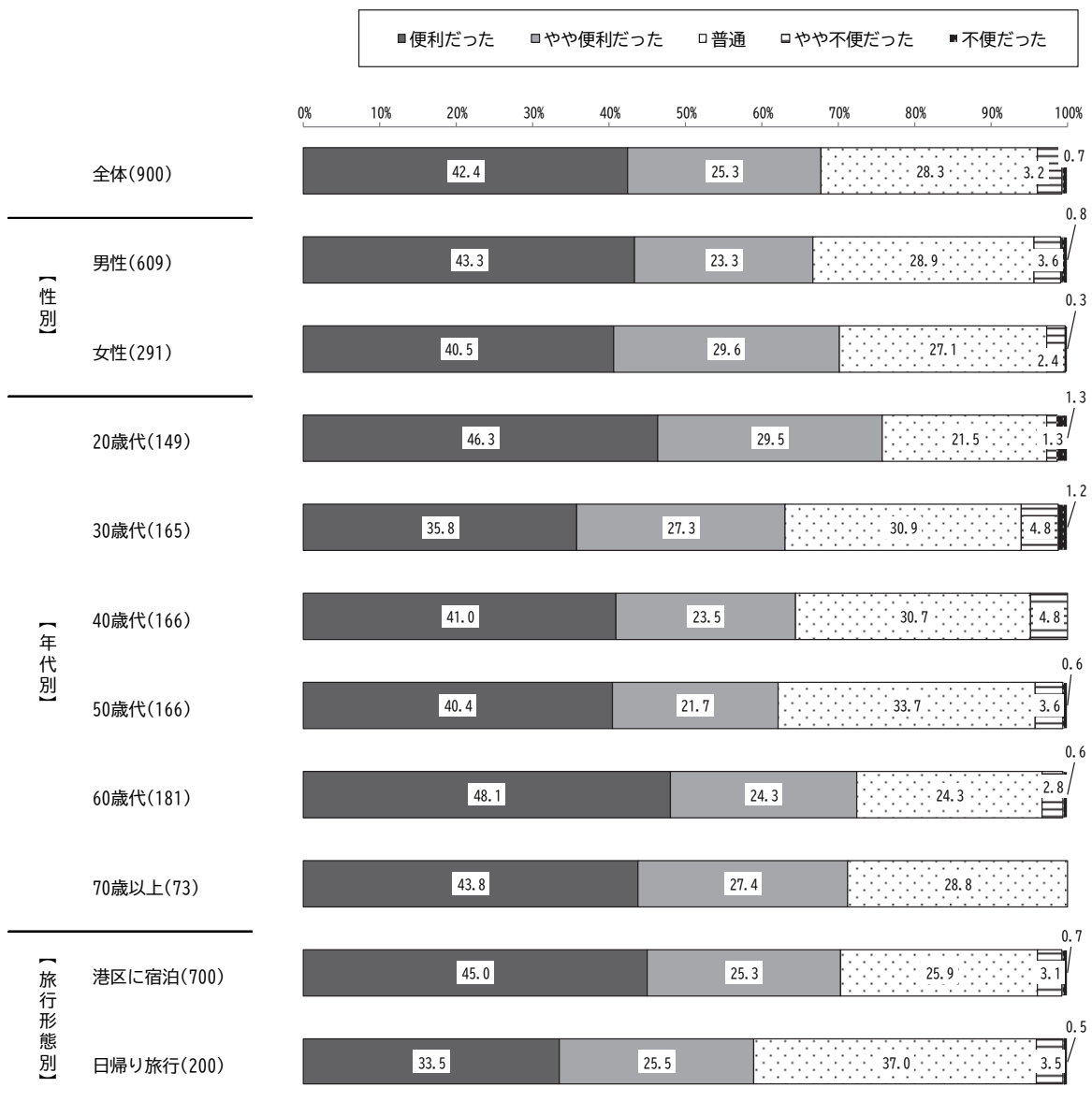
【交通アクセスの満足度】

全体では、「便利だった」(42.4%)が4割を超えて最も高く、次いで「普通」(28.3%)である。「便利だった」及び「やや便利だった」を合わせた『便利だった』(67.7%)は7割近い。

年代別でみると、「便利だった」がどの年代においても最も高い。

旅行形態別でみると、「港区に宿泊」が「便利だった」(45.0%)、「日帰り旅行」は「普通」(37.0%)が最も高い。

図1-61 交通アクセスの満足度





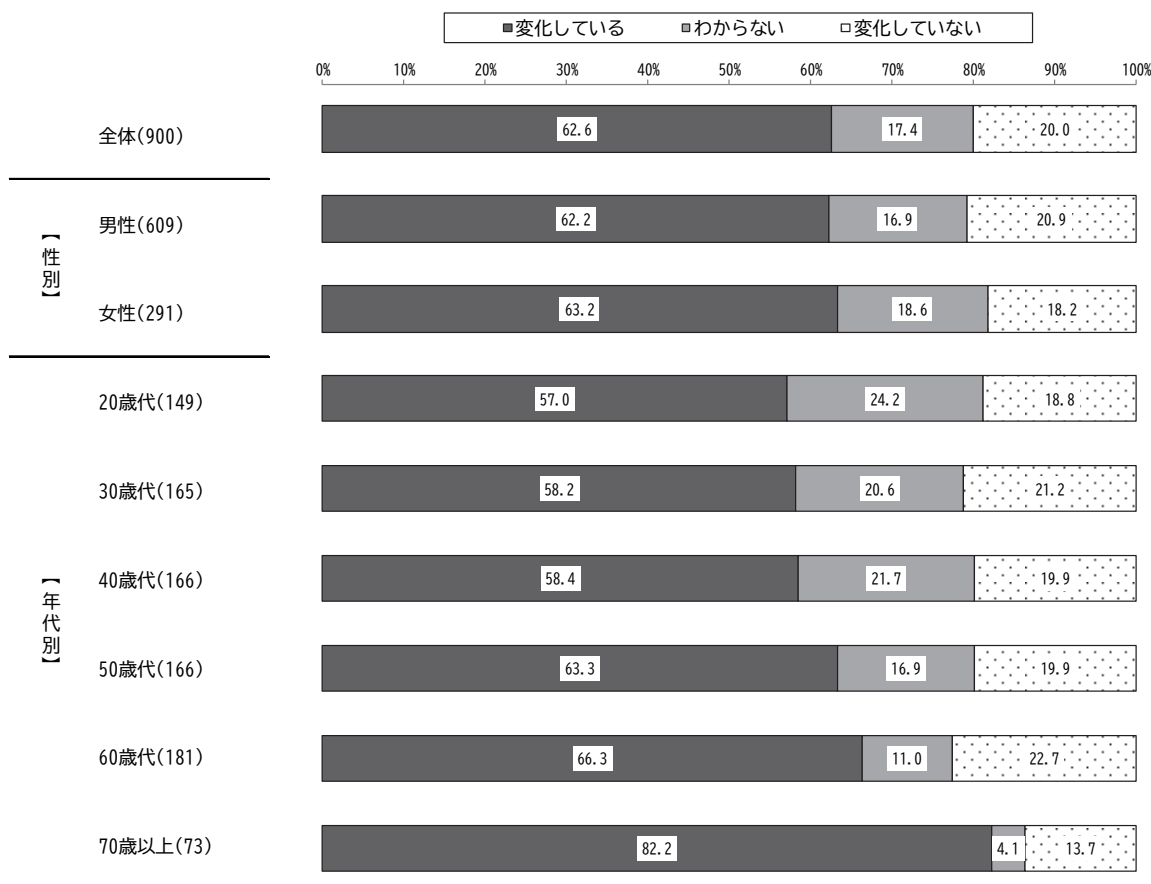
オ 今後の観光に対する意向について

問 18 新型コロナウイルスの流行は、あなたの旅行先の選択や旅行先での行動に変化を与えていると思いますか。

【旅行先の選択や旅行先での行動変容】

全体では、「変化している」(62.6%)が最も高く、6割を超える。性別・年代別のいずれにおいても「変化している」が最も高い。

図1-62 旅行先の選択や旅行先での行動変容



問 19 コロナ禍に旅行の計画を立てる時や旅行先での行動において、意識することは何ですか。（いくつでも）

【旅行の計画を立てる時や旅行先での行動において意識すること】

全体では、「混雑する場所を避ける」（62.4%）が最も高く、次いで「一人または身近な人と少人数で旅行する」（47.6%）、「混雑する時間帯を避ける」（41.8%）である。

年代別で見ると、「混雑する場所を避ける」は「70歳以上」（83.6%）が最も高く、「20歳代」（53.7%）が最も低い。

図 1 - 6 3 旅行の計画を立てる時や旅行先での行動において意識すること

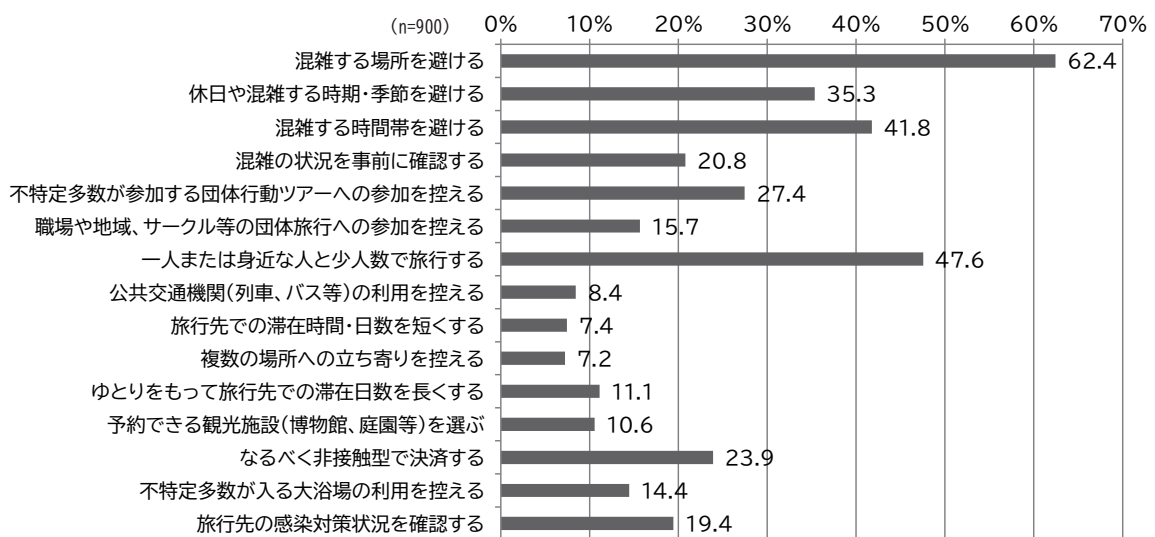


図1-64 旅行の計画を立てる時や旅行先での行動において意識すること  
(上位5項目、性別・年代別)



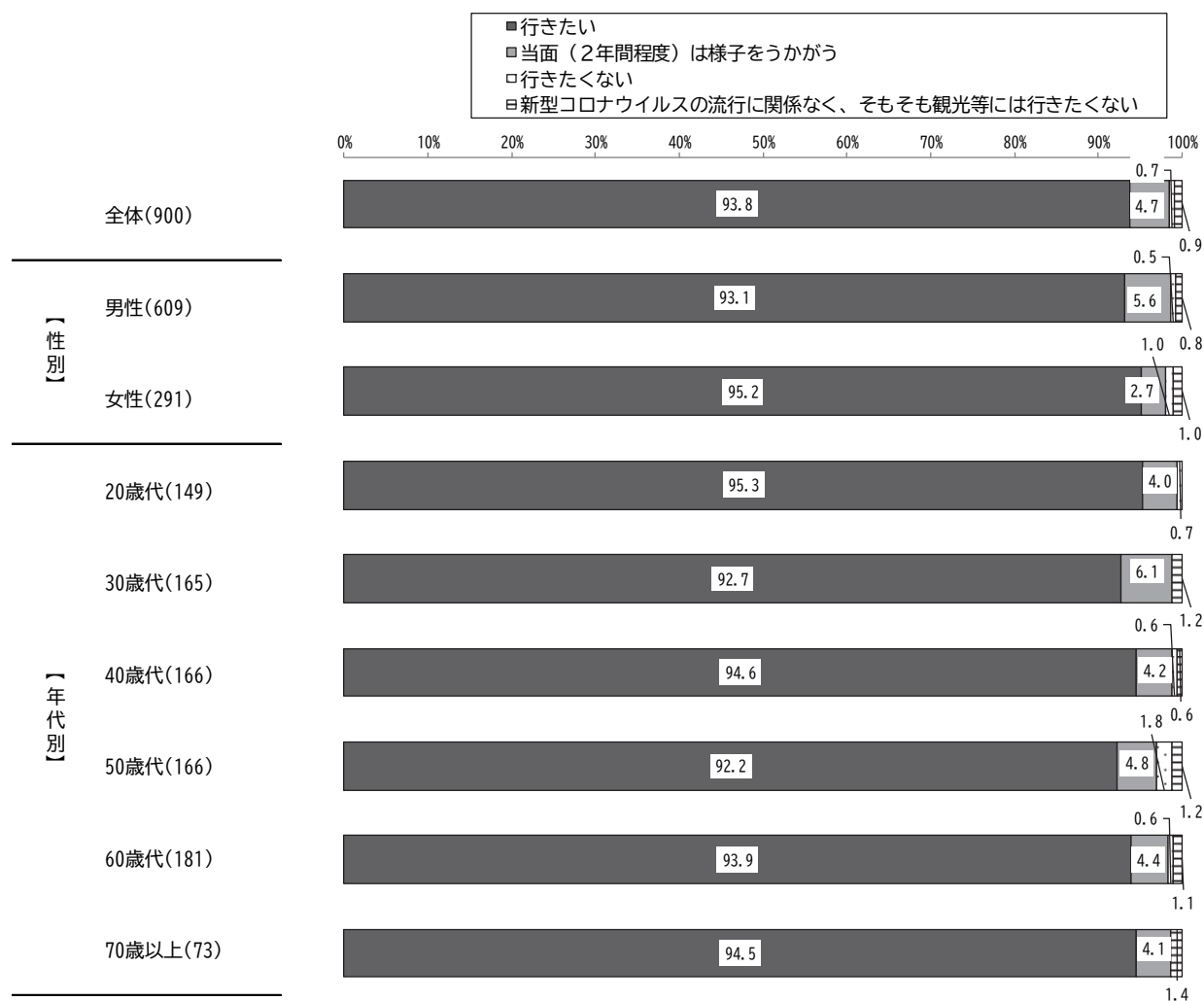
問 20 新型コロナウイルス収束後、観光をしたいと思えますか。

【観光に対する意向（国内旅行）】

全体では、「行きたい」（93.8%）が9割を超えて最も高い。

年代別でみると、いずれの年代も「行きたい」が最も高い。

図1－65 観光に対する意向（国内旅行）



### 【観光に対する意向（港区内のお出かけ）】

全体では、「行きたい」（85.1%）が8割半ばで最も高い。  
年代別で見ると、いずれの年代も「行きたい」が最も高い。

図1－66 観光に対する意向（港区内のお出かけ）

